

体験文集
Vol. 1 春号

体験文集
Vol. 1 春号





體驗文集
Vol.1 / 春号

ありがとう、ごめん、ありがとう

— 気管支の症状 —

私は風邪をひくと気管支に症状が出て、呼吸がゼーゼー、ヒューヒューと息苦しくなります。通常一〜二日ぐらいで治ってしまうので、今までは気管支に思いを向けたりしながらそのままにしていました。

今回も同じような症状になり、愛の円盤を胸に当て、田池留吉を思い、肉体細胞にありがとう、ごめん、ありがとうと思いを向けました。そのまま少し瞑想をしました。

瞑想の中で、肉体細胞から「私たちは愛です。愛しかありません。愛と真逆のエネルギーを出したまま、あなたはずっとずっと肉体を使ってきました。私たちは時に病んだり、傷ついたり

しながら、間違い続けてきたことをお伝えしています。お伝えできることが私たちの喜びです。」そのようなメッセージがありました。

たかが風邪の症状ですが、症状の重い、軽いに関係なく、肉体細胞から流れる思いは、ただただ間違ってきたことを伝えてくれました。今世、どうしても肉体が必要でした。何が何でも肉体が必要でした。田池留吉氏と出会い、学んでいくことが必要でした。長い長い間に、自分で自分を救っていく方法が分からなくなってしまうました。なぜ苦しいのか分からなくなってしまうました。どうしようもないところまで自分を落とし込めてきました。まず肉体を使って、自分の出してきたエネルギーを知る

ところから始めなければなりませんでした。その思いに喜んで答えてくれた肉体細胞たちでした。たかが風邪の症状と、軽く軽く捉えていたことを肉体細胞が伝えてくれました。

瞑想が終わって、息苦しさはなくなり、呼吸も普通に戻りました。いつもいつも肉体細胞から流れる思いを感じながら、これからも瞑想を続けていきます。



「愛」の円盤を使つての体験

― 屈伸 ―

三月の第19回セミナーで「愛」の円盤を使つての前屈の実験の時の体験です。

私自身これまで前屈を行つたときは、両手はつま先よりはるかに離れており、当然、前に出させてもらつても、つま先には届かないものと思つていました。

「愛」の円盤を持つて会場内に入り、前屈をしましたが、これまでのように両手はつま先から相当離れており、到底無理と感じていました。数回の試みで相当の方が成功しましたが、つかない数十人が残り、田池先生の個人指導を受けました。



先生は「何も考えず田池留吉のほうに心を向けて、やってみてください。」と言われ、前屈を行いました。でも出来ない。

田池先生は、さらに「心をしっかりと向けてやってみよう」と言われ、再度挑みましたが自分ではこの辺が限界の腰に手を当てて「目を閉じて田池留吉のほうに心を向けて」の声に更に挑戦、相当辛かったです。生まれて初めてつま先に手が届き、ビックリ！大感激でした。

愛の体験

―手首の捻挫―

セミナーで、宇宙に向ける瞑想をしている時でした。座って瞑想していたのですが、急に立ち上りたくなくなり、立ち上がるうとして、少しは立ち上がったのですが、急に身体が制御できなくなり、倒れこみ、思わず手をついた瞬間、右手首に痛みを感じました。

身体の全てを手首で受け止めたのかわかりませんが、「痛っ」と強く感じました。手首の腱けんが切れたか、手首が捻挫したか、いずれにしても強烈な痛みでした。

セミナー時間中でしたので、ずっと我慢して、セミナー時間が終わった後、部屋に戻り、まだ、痛みを感じ、物を持つことも出来そうにないので、「田池留吉を思い、愛の円盤を右手首に載

せました」。

四、五分の間、載せました。そうすると、痛みを感じなくなっていました。手首を上下にしても、痛くなく、水の入ったコップを普通にもつことが出来ました。

何か、うれしく思いました。

セミナーが終わって、結構重い鞆かばんもセミナーに来たときと同じように持つことが出来ました。今も、強く手首をまげれば少し痛いですが、何の支障もなく動かすことができます。

貴重な体験をいただきました ― 漏水 ―

水道メーターの検針に来られた際、

「漏水しているようです、止まらないようでしたらここへ電話して調べてもらってください」と、黄色い紙を渡されました。その際、「この小さい針が動いていたら漏水のサインです」と説明されました。

針は動いています。

「大変なことになったなあ」と思いましたが、やってみようかな、田池先生の常に「ごちゃごちゃ言わんとやってみなさい」との言葉を思い出し、メーターに向かって「実験させてください」と言いました。

田池留吉と思いながら愛を注入したテッシュでメーターに触れました。

しばらく見ていたら針は徐々に動きを止め始

めました。

それを見ていたら、訳も分からず涙が出ました。

「へえ、本当に止まるのか」

信じられませんでした。偶然かもしれないなあ、また明日になったら動いているかもしれない、私は何度も何度もどうだろうかと見に行きました。まだまだ半信半疑でした。

一月がたつて、また水道のメーターの検針ひしつぎに来られました。

私はその人を捕まえて、「針が止まっているようなのですがどうでしょうか」と尋ねました。「ピタッと止まっています。去年の今の時期の水道使用量より少ない位です。漏水はありません

んね。」と言われました。

びつくりしました。信じざるを得ませんでした。

水道メーターは

「あなたは肉ではありません、エネルギーです。エネルギーが仕事をしましたよ、それを確認したでしょ、信じてください。」

そう伝えてくれていたようでした。

田池留吉を思つて何々をする、そのすごさを思い知りました。



反対に田池留吉を知らない、向けない、向くことができなことは、すべて苦しみとなって現象化するということでした。

いくら己が正しいと踏ん張ってみても、今の私の生きざまの結果がすべて表しています。

外に向いてパワーを出している自分の姿が目につかび「心を田池留吉に向ける大切さを日々伝えていきたい」と思いました。

これがすべてでした。

貴重な大切な体験が、私を導いてくれます。感謝です。

実験と、その積み重ね

1. 普段から便の出が悪く、寝る前に「愛」の円盤をお腹に乗せ、便の出が良くなるか実験をして見ました。寝ててもお腹の上の「愛」の円盤に心が向き、何度も目を覚ましたが、翌日の朝は普段通り起きました。

結果

トイレに行くなり、力まずすつと出て気持ちも良く、スカツとしました。

久しぶりの快感でした。実験の結果は愛のエネルギーが仕事をし便が出た。

感じた事

何ごととも田池先生の言われることにチャレンジし、鵜呑みでなく、実験をして見る事が大

切だと思った。

効果

私の心の中に田池留吉が存在し、愛のエネルギーが仕事をした。

肉体細胞と同じ愛のエネルギーは自然治癒力が働き、元の正常な状態に戻る。

2. 妻の肩、背中 of 痛みに、「愛」のたまごを軽く背中に当て、妻は田池留吉を思い、私も田池留吉を思い、「愛」のたまごを左回りで回転しながら優しく摩る。

最後は手で軽く摩る。

結果

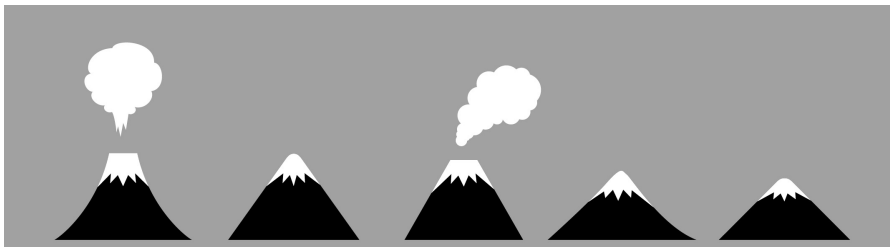
妻は気持ちが良くなり、痛みがなくなっている。

効果

愛のエネルギーの仕事を実感する。
気持ちがリラックスし睡眠に入るのが早い。

感想

妻の肩、背中の痛みに田池留吉を思うと、以前に実験をした水道水が変わった時と同じ田池留吉の波動を感じるがある。
今までの積み重ねが大切だと思う。



愛の体験談

— 右脚がつる —

今朝のことです。

目が覚め起きようとした時、右脚がつりはじめ、痛みとともに、やがてふくらはぎが固まりだしました。

すぐに田池留吉を思い、いつもベットに置いている愛の冊子で足を一〜二回なでると、痛みと固まりがフワ〜フワ〜と消えてゆき、温かさが伝わってきました。

ほんの数秒のことでした。



以前にもなったことがあります。その時はしばらく痛みと固まりが続き、階段を降りるのも、歩くのも辛かったのを思い出しました。

今の痛みと固まりはなんだったのかと、驚きと嬉しさがこみ上げてきました。本当にうれしかったです。

愛の水素水、ありがとう

昨年末に初めて愛の水素水を作って飲む機会をいただきました。

子供の家族とみんなでボトルを囲み水素水の出来るのを見ていました。

ボトルの底から小さな泡がプクッー、プクッと弾けるように飛び出してきた、その泡が二つとなり、三つとなって、やがて沢山の泡が、先を競うように飛び出してきました。

その小さな泡の一つひとつが、まるで「嬉しい嬉しい」と喜んでるように、小躍りして喜んでいるように、踊っているように見えるのです。

「喜んでるんやね、踊っているみたいやね、唄っているんかなあ……」

そんなことを言い合いながら、なんだか幸せ

な思いになりました。

愛をありがとう。

ボトルの底から小躍りしながら飛び出してくるあの水素水の小さな泡の一つひとつが私に、喜びを伝えてくれていました。生まれてくる喜びを伝えてくれていました。

「お母さんありがとう、お母さん、ありがとう。」
私を産んでくださってありがとう、ありがとうございます。
うございます。

私は喜びです、喜びで生まれてきました。

ありがとう、ありがとう、お母さんありがとう。
胸が一杯になりました。

「どうぞ、母の温もりを、お母さんに産んでもらった喜びを思い出してください。」

お母さんの温もりの中にある自分を思い出し
てください。

なぜ生まれてきたのか、その理由を、どうぞ、
自分の中から見出し出してってください。」

そんな思いが伝わってきました。

嬉しかったです。

みんなで美味しい愛の水素水をいただきながら、
楽しい一時を過ごさせていただきました、
ありがとうございました。



愛の円盤、すごいです

全く動かなかったビデオカメラが動きました。

何を思ったのか、夫が自分の持ち物の中にあつた私の小型のビデオカメラを取り出してきて使おうとしていました。

小さくて便利だからと、あれこれ操作しようとしているのですが、どうしたことか全く動かないのです。

先ず、液晶モニターの部分が開かない。電源は入るのに操作できない。

説明書を見ても書いてなくて、メーカーに問い合わせても原因が分らない。

揚句の果てにメーカーの修理部に出して見てもらうことしか方法がないということになりました。

いくら自分の所にあつたとは言え、自分の物でもないのに私に断りもなく勝手に出してきて、自分のビデオと比べて何だかんだと、文句を言いながら操作をしようとしている夫を腹立たしい思いで見っていました。

「いかげんにしてよ、勝手に私のものを持ち出しておきながら、文句を言うな勝手に使うな、私に断つてから使え、こんな事に私の時間を取らないで。」

いっぱい、いっぱい、夫を責める思いを出していました。

その時、ふっと磁場と反転の本の中に書いてあつたことを思い出し再度、本を手にとって読み返してみることになりました。

不具合の原因を突きとめて解消することを目的とするのではなく、思いを向けることが大切だと、そのものの思いに沿って使っていくことが大切だと、書かれていました。

ビデオカメラをただの物としてしか見ていなかったと思いました。

そのカメラの思いなど全く無視し、ただただ自分の勝手な思いばかりを押しつけてなんとか自分の思い通りにしようとしてきたと思いました。得て勝手な私、冷たかったと思いました。ごめんでした、ビデオカメラにごめんでした。

どのようににしても自分の思い通りにならない、ビデオカメラの操作を諦めた夫からカメラを受け取り愛の円盤の上に乗せ、田池留吉に心を向け合わせて田池留吉を思いました。

しばらくして、念のためにもう一度カメラを持って操作をしました。

びっくり、びっくり、本当にびっくり。動いたのです。

あれほどビクともしなかった、ビデオカメラが作動したのです。

開かなかったモニターの部分もすーっと開き、まるで何事もなかったように映像もきれいモニターに映し出されてすべてが正常に作動しているのです。

何をどのように言い表していいのか分かりませんでした。

ただただ、反省するしかありませんでした、心を見るしか。

すべてを肉基準に、形の世界しか信じてこなかった私達でした。

分らん、分らん、何でなの分らん、夫はさかんに頭を回し、「分らん」を連発していました。

「大事な時間をこんなつまらないことに費やして、私まで引き込んで」と、夫を責め裁いてい

た私でしたが、夫と共にこんな体験をさせて
いただき共に学ぶ時間をもらったことにありが
うでした。

ビデオカメラに、愛の円盤にありがとうで
した。

どれ程肉で、頭を使って考えてみても分かる
ことのない世界、田池留吉に心に向け合わせて
思う、驚きと喜び、真実の世界をこうして今、
肉を持って体験させてもらっているのですね。
目に見えない世界、愛のエネルギーの存在を
……。



私はエネルギーです、愛です、愛のエネルギー
です。この真実を自分の心で感じ知っていくた
めに様々な愛のグッズに囲まれて学ばせても
らっている幸せな私達であることを改めて感じ
させていただきました、ありがとうございます。

愛のエネルギー体験談

一月二十三日十一時からの水道水の実験のとき、仕事先にいたのでビルの湯沸室で実験しました。十一時前の水道水をコップに汲み置いて飲んでみました。十一時になって別のコップに水道水を汲んで飲んでみたら明らかに甘く美味しくなっていたので驚きました。

十一時前と後の水は見た目には同じコップに汲んであったので、学びを知らない仕事先の人に飲み比べてもらいました。

「十一時後の方が美味しい」と言ってくれるのを期待したのですがそうはならず、しかし「二つのコップは明らかに味が違って、十一時前の方がいつも飲んでるミネラルウォーターの味がする」と言っていました。

その時はその発言の意味が分からなかったの

ですが、後日市販のミネラルウォーターを飲む機会があり、とても癖があつて純水を飲み慣れた私には不味くて最後まで飲めませんでした。おそらく、十一時後の水は癖がなくスッキリとしていたのだと思います。

同じコップだったので私が前後を勘違いしたのかと思つて、受付の女の子にリングテストを教えて、してもらったら、十一時後の水の方が固かったので、コップの勘違いはなかったことが確認できました。

この水道水の変化がいつまで続くのかずっと気になっていました。田池先生の話を知ると、ずっと続くように取れました。リングで確認したかったのですが、仕事先なので気楽に頼めず日が経っていききました。

第19回UTA会セミナー後の三月二十八日、久しぶりに仕事先に顔を出したとき、そこで淹れているコーヒーを頂いたらとても美味しいと思いましたが（コーヒーを淹れる水は例の湯沸室で汲んでいます）。気になって湯沸室の水道水を飲んでみたらスッキリとして美味しかったです。（名古屋の水は比較的きれいで、TDSメーターで測ったとき、40くらいでしたが）効果がまだ続いているのだと思いました。

i-Podがstartボタンを押しても動かなくなつたとき、「愛」のラミネートカードの上に載せました。でも「そんなに都合良くいかないよね」という思いがありました。しばらくしたら、動くようになって、ビックリしました。

第19回UTA会セミナー二日目、たくさん飲んで喉を使い過ぎて、寝る前に喉が痛かったので、頂いた「愛」のハンドタオルを首に巻いて、

喉に当てて寝ました。次の日、喉の痛みは取れて調子が良くなっていました。

第19回UTA会セミナーで買った「愛」の円盤をお風呂に持って入りました。お湯が柔らかくなめらかになったように思いました。その日はすごく温もって、お風呂から上がってもずっとポカポカしていました。その前の日はパジャマの上に浴衣を着て寝ても、朝方寒くて目が覚めたのに、その日はパジャマだけでも朝までぐっすりよく眠れました。

缶コーヒーを買って「愛」の円盤に載せる実験をしてみました。缶コーヒーは独特の缶臭さが苦手です。普段はほとんど飲みません。何もしないときはその缶臭さがあって、オリンピックも柔らかかったけど、「愛」の円盤に載せたら、オリンピックも固くなり、缶臭さもなくなって、美味しく飲んで、ビックリでした。

三月の終わり頃から背中の中の左側にしびれのよ
うな違和感を感じるようになりました。教材だ
と思つて、肉體細胞に「ありがとう、ごめんな
さい」と思いを向けたり、草書体の愛が入った
セラミックの玉子でマツサージしたり、お風呂
で「愛」の円盤を当てたり、愛のTシャツを着
て寝たりしてみました。

すぐには変化は感じられませんでした。「心持
ち良くなった気がするかなあ？」程度でした。
心を肉體細胞に向ける教材だと思つて「もしか
したら一生付き合うのかな」くらいの思いでい
たら、日を追うごとに違和感を感じる頻度が減つ
ていつ、四月十一日現在、気が付いたらほと
んど感じなくなっていました。四月二十一日現
在、完治とまではいかないけれど、一日に一回
くらい、かすかに感じる程度になっています。

愛のハンドタオルについて

最初にホームページで頂けると知ったときか
ら楽しみにしていました。もらつてすぐに開け
てみて柔らかくて気持ち良くてとても気に入っ
て、それからずっとそばに置いて喜んで使つて
いました。まるで「ライナスの毛布」のような
感じですよ。「愛」のハンドタオルだからだと思っ
ていました。

しかし、海外在住者中心の勉強会するとき、田
池先生が「ただの刺繍の入ったええタオルだ」
と言っていたので、「私は今治タオルの質の良さ
を気に入っていただけなのかな？」と疑問に思
いました。でも、セミナー会場でちゃんと固い
と確認していたのを思い出し、もう一度母とO
リングで確認したら、ちゃんと固かったです。

やっぱりこのハンドタオルを見ると嬉しいで
す。草書体の「愛」は心を田池留吉に向けるた
めのサインだと再認識してタオルもその他の
グッズも使っていきます。

愛の水素水での体験談

今回、愛の水素水での体験談を書かせていただきますと思います

今年の五月五日に十三歳になるトイプードルの犬——名前がまいちゃんといいます。そのまいちゃんの歯に歯石がいつぱいついて、口をあけるとくさいのです。

「まいちゃん、お口くさいね〜」と行って、時々、口にティッシュに水を含ませて指で歯を拭こうとするのですが、嫌がつて逃げようとしません。そこで逃げないように羽交はい絞めにして、口を無理にあげさせて拭いてました。

当然、こんなことはなが続きはせず、あきらめていました。でも、口のおいが気になって仕方がないのです。

ある日、トリミングのお迎えに行く途中に、セミナーの友達にばったり会って、こうこうしかじかだと話したら、「愛の水素水で拭いてみたら」と言われ、早速その夜、田池留吉を思い水素水を作り、ティッシュに含ませて、再度田池留吉を思い、ソファで寝ていたまいちゃんに、そのティッシュを指で歯にあてて拭いてみたのです。

これまで何度試みても逃げられていたのが、今回はおとなしく拭かせてくれたのでした。「どうして！」とびつくりしました。

「いやいや、あの時は寝ていたので寝ぼけていたのかも」と、あくる日も再度挑戦してみました。が、なんと、今回もおとなしく拭かせてくれたのです。

私にとってはおどろきでした。びっくりしました。

「今までの私はなんだったのでしょうか」と思いました。「私の言うことを聞け！」と、すさまじいエネルギーで歯を拭こうとしていた自分でした。それは私のころぐせでした。

箸を持つたびに田池留吉と言われることがよくやく納得です。

いろいろな愛のグッツを用意していただきながら、やっと活用できました。なんだかホッとしてうれしかったです。

うれしかったので、体験をかかせていただきました。



愛の体験談

— はげしい肩の痛み —

私の実践

家を売却することとなり、最後の掃除に行きました。その帰り、車の中で急に右肩が痛くなりました。

掃除をして肩に負担がかかっていたんだろーろーと思っていました。だんだんとうずき出し、その夜は寝がえりをするのも辛く眠れませんでした。

次の日もあまりの痛さにソファーに横にならずーつと寝ていました。この調子だと病院に行かなくてはと思っていました。

それまでは肩は何にもなかったのに、急に痛くなったことを思い、これは何かがあるのではと思いました。

そうでした。この家は子供が閉じこもり、そ

れから苦しい日々が二十五年。苦しい暗い波動を流し続けて来たって申し訳なく思いました。

この家でごまを炊いて拝んでもらったこと、他の神様にお願したこと、本当に間違いだらけで来たって、家に申し訳ないと思えました。目から涙が出てくるのです。

その後、いつの間にか肩の痛みが取れていたんです。本当にびっくりしました。すつきりとなくなっていました。田池先生がセミナーで肩が上がらない人を呼んで、肩がスムーズに上がるようになっておられたことを思いすごい体験をさせて頂きました。

肉体からの愛プレゼント、すごいです。

孫の手

いつもお風呂に置いてあります。

湯船の中に入り、孫の手でゆつくりと三〜五回お湯をかき混ぜて入ります。

寒い時でも良く温まり、湯さめがないのです。ずーっと半身浴は続けていましたが、引越しやら何やかやと時間がなく半身浴ができませんでしたが、良く温まり快適におふろの時間を持つてびっくりです。

愛の円盤

私は前屈は体が柔らかいのか何もせず手が地面にしつかりと着いています。

だから他の方たちが、着かないのに愛の円盤をもってすると着くようになっておられるのを見て、私はどうすればいいのかって思いましたが、私も同じようにしてみようと実験しました。同じように軽々と着きますが違っていました。とても体がしなやかで柔らかい感触があったん

です。やはり愛の円盤はすごいです。

肩のこつている所にあててホームページを読んでいると、いつの間にか痛みが取れていました。

次は腕の付け根に少し違和感があるので、もう一度実験を試してみようと愛の円盤をあててみました。また違和感がなくなりました。びっくりしています。

愛の孫の手

毎晩、孫の手を握り眠りにつく実践をします。

妹より「孫の手を握って寝ると、あくる朝、体が軽かった」と聞き、私もやってみようと思いました。

私は体に痛みがあるとか、どこか不調を感じているということがなく、結果が分かりづらいうらなうなど思っていました。でもこれを握り、田池留吉を思い寝る。その嬉しさが分かるようになりました。

一、目覚めがすつきりしている。

一、今までテレビを見て寝る習慣があったけれど、孫の手を握っていたら、テレビがつまりなくなり見なくなりました。



一、握っていたら嬉しくて涙が出る日がある。
一、セミナーの夢を見た。その中で田池先生の指差しがあり、「まだまだ」と言われている気がした。

等々の体験をしました。

愛の体験談

— 目の痛み —

愛の体験談募集の締め切りの迫った日曜日。

去年、涙線の側に来た腫瘍の切除手術を受けた部位なのか、涙線なのか、一週間くらい前から痛みがありました。そして、その日曜日は特に痛みがひどく月曜日には眼科に行つて診てもらおうと思つていました。その時再度、UT Aブックの桐生さんの花粉症の後日談を読みました。私も「愛」の水素水を作り、「愛」のハシカチタオルで同じ事をしてみました。私の場合、胸奥から噴き出てくるものはありませんでしたが、桐生さんのした事を真似てしてみました。痛みはその時とれていなくて、「あー、私には駄目なんだと思つていました。

次の朝、朝食の支度やらで忘れていたのですが、気がつくと目の痛みがありません。不思議

でした。本当に不思議な体験でした。不思議と驚きでした。何でつて？ 何であんなに痛かったのに、眼科に行つて診てもらわなくてはと思つていたのにつて。びっくりでした。私の場合、一日たつてからの変化だったので、びっくりもし、不思議でした。今日は火曜日、痛みは全くありません。こんな事があるんですね。びっくりと不思議と、嬉しい思いです。体験談を読ませてもらつて真似てみる、自分でもこんな体験が出来た事、嬉しいです。ありがとうございます。

第18回セミナー後の流れ

【第18回セミナーの感想】

二〇一三年十二月十八日

今回は、「自分の為に」が私なりにテーマでした。肉だったかもしれないけど、自分にそう思っただけ参加しました。

いつもよりもセミナー資料をちゃんと読もうと思っただけ読んでみると、とても嬉しかったです。

それから、くじ引きは、席取りの順番は二番目でラッキーでしたが、その他のくじは全部ハズレました。

ただ二回前に出られたので良かったです。

嬉しかったのは、先生が椅子を運んできた時でした。

なんだか優しい椅子だなあ、あんまり心に響かない私なのに、とっても優しいものが何か分からないけど伝わってきて嬉しかったです。

椅子にもあんなに優しい思いがあって、私もそれが少し分かったのがうれしかったです。物は、単なる物ではなくって、あんなに優しい何かが出されるんだなあって。それを使う人の波動？

あれは先生が座っていた椅子なんですね。良かったです。前の方に座れたからでした。

何だか、物って不思議だなあって、優しい物にほんとは変わるんだなあって信じられませんでした。オーリングで確かめたのではなくて、心でも少し確かめられたのが嬉しかったです。優しかったです。

帰りに京都駅の待合室で、友達三人でパンを食べました。

私が「この前よりおいしい。ずっと美味しい」と言ったら、みんなそう思ってたようでした。すごく味わって食べました。本当に美味しいと思いました。何ぞ？

部屋の友達が一〇〇個の茶碗に当選したので、オーリングしました。

超超超固かったです。すごいなと思いました。私はその時何も持っていないだったのでバイキングでいただいたジャムとマーガリンで試したら、すごく固くなりました。

嬉しかったです。ちょっと自信がついて嬉しくなりました。

でも今朝、家でやってみるとあまり固くならず、二回目で固くなりました。

今回は本当にセミナーの二泊三日、色々やってみました。バイキングの時はお友達と二人でコーヒーや紅茶をコースターに乗せてやってみました。嬉しくて嬉しくて、毎日毎日こんな食事ができたら嬉しいなって思いました。ありがとう友達。

その時もオーリングは固くなりました。実はすごいことを、私たちはやっているのかもしれない。

椅子といい、コーヒーといい。なんだかそう思い始めました。一番難しい瞑想については……いつかちゃんと感想書けるように、と思っています。

【ティッシュ実験大成功】

二〇一四年一月十三日

昨日のスカイプは、すごかったです。

特に、特に、ティッシュペーパーがびつくりでした。

夫が田池留吉に向けてと思いを向けたティッシュを使って、私が開く役目でオーリングをしたら、ガチンガチンに固くて、びつくりでした。

その固さはセミナー会場で愛の茶碗等を使って、みんなでする時と同じくらいのものでしたので、びつくりびつくりでした。

家でもこのような固さになるとは、ただただ驚きでした。

愛の草書が入っていない、ただのティッシュなんです。もうびつくりしかありませんでした。

これはもう、全て信じられました。実験は必ずうまくいくと思えました。

そのティッシュを使い、例の、冷蔵庫、蛇口、お風呂の湯等々を試みました。

みかんもやってみました。

コップの水は、ティッシュを当てた冷蔵庫に入れる前と後、オーリングテストの結果は歴然でした。

蛇口に当てる前と後の水も、そうでした。特にびつくりしたのは、お風呂でした。

片手をお風呂に入れ、ティッシュを付けたお湯にする前と後、全然違いました。

そのお風呂に入り、少し目を閉じると気分が良かったし、顔を洗うと、綺麗になる気がしました。

我が家の脱衣所はかなり冷え、冬は正直お風呂が苦痛になる季節ですが、温まり方が良かったのか、いつもより寒さが和らいでました。

実験、これはもう信じられます。

【レポート】

二〇一四年二月一日

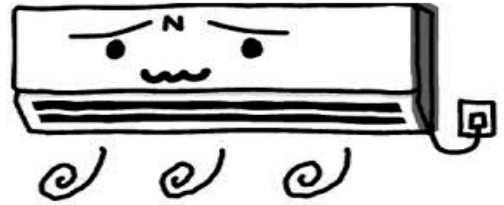
その①料理

一二月のセミナーから帰ってきてから、自分の作る料理がとても美味しいと思う。すごく美味しくなったと思う。時々自分でもびっくりして「おいしい！」と声に出してしまう時がある。夫もそう言う。嬉しい。だから疲れていても自分で作る。てんや物はほとんどとらなくなった。

その②エアコン！

去年もそうだったが、夏は元気なエアコンが、寒くなるにつれ止まってしまう。去年、エアコン専門の修理屋に言わせると、「室外機が寒さで動かない」とのこと。さすがにあきらめて、冬は石油ストーブにする。息子の部屋にはストーブを置くと布団が敷けず、布団を敷いている時はストーブをどかし、止めている。

晩秋の頃まではなんとか動いていたが、やは



り運転しなくなり、受験勉強も大詰めなので、そろそろ買い換えてやろうかと、夫と朝、話していた。

十二月のセミナー後のことだ。

夫を送り出してから、息子の部屋へ行った。その日は一番の冷え込みでベランダにある室外機は頭で考えると、とても動くとは思えなかったけど、何か、心はそうでもなかった。動くような気がしな

いでもない、思いを向けてみた。

先生の椅子の優しさが、私の脳裏をかすめ、物は物体ではないと、エアコンにもそんなことを思った。

肉でしたことは、一度外したコンセントを上
下反対にして差し替えてみた。

これはただの遊び感覚だったが、思いを向け、
そうこうしているうちに、いつもと室外機の音が違う。なんだか音が元気だ。前よりエネルギー

がある音だ。

「ひよっとしてひよっとするぞ」と思っていたら、元気に動き出した。いつもは途中で閉まってしまう温風の吹き出し口が全開で、あったかい空気が出てくる。

この冬はとても寒いというのに、その日以来一度も止まることなく、今、息子はエアコンの応援を受け、受験のラストスパートだ。あの朝の夫婦の会話、エアコンさん聞いていたのかな。

その③ 職場の相談室を愛の部屋に

私は高齢の方々の住宅の相談室にいて（相談といっても遠い耳や、老眼の代わり。書類を代筆したり、電話をかけてあげたりとそんな用事だ。）

部屋には机とロッカーと、本棚と、相談に来る方々のテーブル。朝、出勤と同時に

そうだ、愛の部屋にしてから仕事を始めよう、と、ここ数日思っ、壁に手をあてて

愛の部屋にしている。オーリングは出来ないけれど、トイレからその部屋に戻ってき

たとき、部屋の扉を開けた瞬間に「優しい」と思った。愛の部屋になってるよーと

思った。昨日、そう思った。良かった。

またやりたいと思う。心でそう思ったので、多分、相手がいたらオーリングも成功する

と思う。

その④ 目覚まし時計を触った瞬間や、起床してリビングに入った瞬間……朝も変化してきています。

朝の感覚が違う。布団の中でふわっと優しい感じがして朝を迎える事が何度もある。以前は無かったこと。触った目覚まし時計からふわっと優しいものを感じ、あれ、自分でやった覚えはないけれど、愛の目覚まし時計になったのかって、その時思った。

意識して時計に思いを向けたことはなかったけど、いつもその横に、以前セミナーで先生の

ペットボトルとくつつけたお水が置いてある。

前は起きても心が嬉しいとかそんなことは思わなかったのに、布団から出て、リビングに入った瞬間にも、なんだか前とは違う優しい思いとつか、感じがする。前とは違う自分を感じる。愛の部屋になってる、と思う。

十二月のセミナーから帰って、自分の料理が美味しいと感じられるのと、それらのことが同時進行に起こっている。だから朝一番に毎日その部屋で瞑想をするようになった。仕事の日も、今日は子供がいてなんだかんだと集中できないだろうと思う日にも、朝ならできる。そして六時二十五分になったら毎朝テレビ体操をする。体操は去年の秋からだ。

く以上が先生に送ったメールです。第18回セミナーは、こうしてみると私にとつて意外にも（肉の自分は、母を責める思いが蒸し返した

ように出まくって、閉口気味だったのです）非常にポイントの高かったセミナーとなりました。それはあの椅子から始まったような気がします。物は物ではない……。だから、この道具類の実験には、今までと違う喜びというか、何かに裏打ちされたような感じとか、実感を持って取り組むことができるようになってきました。

今ではスーパーに行く時や、色々な場所を愛にして楽しんでいきます。そうすると、その場所の空気というか、感じとか、何かが変わっているのが感じられます。おうちにいる時感じる愛の感覚といふかなあ、優しい感じといふかなあ……。

先日、子供の卒業式ではお世話になった体育館に、持参していった「愛の注入割り箸」をタッチしようかと思っただけ、さすがにへんかなあと。そこで思いついたのが、割り箸と傘の先を

タッチして、傘で、校内のあちこちをさり気なく触りまくって、愛にしていきました。ありがたい、もう最後かもしれないね。ありがたい。お世話になりました。いやいや、そうじゃなくて、田池留吉に向けてだけでいいんだ……とかなんとかやっている、卒業式の会場も空気がどうか、雰囲気動き出し、何か活性化されて嬉しくなっていく感じがしました。もちろん自分の心もノっていく感じというか、変わっていきんです（発信元ですからね）。だんだんその気になってきて、というか、今回の一番の目的であり、予定であった、水道の蛇口に、レッツゴー。そのために割り箸を用意してきたのだ。校内のお水を変えるなんて、最高のはなむけですよね。

校庭の水道の蛇口でやってみました。水は美味しくなったかな？ 飲んでみました。最初からあまりまずくなかったけど、それでも少し変わったのが分かりました。ここはサッカー部、

うちの子が頑張った野球部の子達、みんなが暑い夏など、ガブガブ飲んでいる水だから、きつと良い水が飲めるように、変わっていくと思っ
ています。一つやると、校内全部？ 最後と言
わず、夫とオーリングしに来ようかしら。まあ、
いろいろあったけど、最後に駅まで行く田んぼ
の中の一本道に傘でタッチ。卒業式からの帰り
道は清々すがすがしくって、行きよりもずっとずうつ
と気分がよかったです。ありがたい。色々やら
せてもらえました。

割り箸と言えば、記録的大雪で、屋根も、室外機もものすごい重量の雪の塊……。さすがにエアコンはまた吹き出し口をすぐに閉じるようになってしまいました。そうだよなー、この雪ではなあー。さすがに、しばらくの間、ストーブにしてみました。いよいよ試験も本番、息子が試験に行っているスキに、スカイプ瞑想会で作った愛の割り箸をエアコンにチョン！

……またまたあつたかい空気を送ってくれました。

その他、色々楽しい報告がありますが、それはまた次の機会にゆずることにして、早速、送らせていただきます。原稿募集のお知らせに「待ってましたー！」と送らせていただきました。



愛のCDを湯船に浮かべて

湯船に「愛のCD」がビニール袋に入って浮かんでいる。

それを見ていた。母を思った。目の前にある五訓に思いが向いた。突然に涙が溢れてくる。母と一緒に、毎日毎日五訓を読んだことが浮かんでくる。

母と過ごした大切な時間だった。嬉しい時間だった。苦しい時間だった。厳しい時間だった。母とともに過ごした時間が中から涙とともに溢れてくる。

五訓を泣きながら声を出して読んだ。母を思えることが嬉しい。母を思えることが嬉しい。

愛のCDが目の前に浮かんでいる。湯船の中にプカプカ丸い愛のCDが浮かんでいる。故郷の文字、ああ、私の故郷は一つじゃ

なかった。たくさんあった。たくさんたくさんあったんだ。また涙が溢れてとまらない。私には、たくさんたくさん故郷があった。故郷には、私のすべてを受け入れてくれた母と、私の故郷があったんだ。

母と故郷は私の中では一つに思えてきた。何処で産まれても、私は肉体細胞から流れる愛のエネルギーとともにあった。そんなこと思ったこともなかった。

この地球に私の故郷がたくさんたくさん数え切れないほどたくさんあったんだ。日本だけではない、世界中に私の故郷があったんだ。

湯船に浮かんでいる丸い愛のCDが、地球に思えてきた。この中に私はいた。

私の故郷、愛のCDが私の故郷。私の故郷は

みんなみんな愛だった。みんなみんな愛だったんだ。始めて思った。地球が私の故郷、地球が私の故郷。地球は私のお母さん。嬉しくなった。どんどん嬉しくなった。

母を思えることが嬉しいです。ありがとうございます。ありがとうございます。そう思える今が嬉しいです。愛のCDありがとうございます。

愛の円盤を頂いてからも毎日お風呂に入っています。

明け方の四時頃まで熟睡できるようになった。それが嬉しい。愛の円盤を見て、お風呂に入る時、自然に肉体細胞を思える時間になりました。温かくて優しくゆったりとした湯の中に包まれて幸せな時間です。肉体細胞を思い、ごめんなさい。ありがとうございます。素直に思える時間です。

気がつけば、左胸の痛み、膝の痛み、自然に治っていました。肉体細胞から流れる愛のエネ

ルギーを遮っていることを体の痛みは教えてくれています。



愛の道具体験談

— 左半身に硬直と激痛 —

第19回UTAセミナー五日前から、体が急に重く感じ思うように動かなくなつた。二日前には寝返りもできなくなり、痛みで眠れない。何がどうなつたのかわからないが、左上半身が硬直していく。泣きながら痛みの部位に思いをむける。自分の中にたくさん思いを封じ込めてきた「思いを向けてくれ」という叫びだと感じる。田池留吉を思い、愛の文字を思い、痛む部位に思いをむけると、すつと軽くなる。

でもまた痛みが走り疼く。遂には起き上がるにも痛みで涙がでる。鈍痛は続き、服を脱ぐこともできない——要介護状態。

セミナー前日、左肩が腫れて熱がでてきた。意識だと思ふがどうにもできず、痛み止めを服用することにし、シップも貼ってもらい、肉体

細胞に思いを向けて寝た。翌朝、あれ？体が動く。軽い。芯は重いが痛みが軽くなっている。昨夜とは全く身体の動きがちがう。これならセミナーへ行ける。肉では考えられないことだと思つた。

セミナー初日の現象（瞑想）で前にでた。田池留吉に思いを向けると、左上半身が硬直していく。凄まじいエネルギーで、田池留吉に反抗している。

クソ、クソ、お前が邪魔だ。お前がいるからこの俺の力がでない。ぶつ殺せ、ぶつ倒せ、戦え、戦え、戦い抜いて田池留吉をやつつける。この私の力を見せつける。戦え、戦え、凄まじいエネルギーを田池留吉に向けていくと同時に、ど

んどん体が硬直していく。腕も指も硬直し左半身も……

このエネルギーで世の中を治めようとしてきた。全てを我が物にしようと企んだ。思うようにはいかない。この体さえも動かない。なんてことだ。このエネルギーを隠して善人を演じていただけ。これが私の現状。はつきりと数日前からの肉体細胞の状態が再現された。このエネルギーで肉体が動けなかった。肉体細胞からのサインだったということか。これが、肉体細胞からの愛。なんて肉体細胞を小さくみてきたのか、肉の思いでみてきたことか。自分の意思で肉体は動くと思ってきた。けれど、思っても動かなかった。無理に動かそうとすると痛みが走る。激しい鈍痛。

私はなにものだ？ 肉が私ではなかったということか？ 思いと肉は違うぞ。私が意識とすれば、この肉体細胞の反応が理解できる。そうか、そういうことか。私は意識。肉体細胞も意

識。田池留吉の思いとずれると、意識と肉はバラバラになる。

自分勝手な思いで、肉体を動かしてきた。意のままに動くものとしてきた。田池留吉の意識を馬鹿にしてきた。ごまかせると思つて軽くみてきたことがみえる。欲、欲、欲の思いでこの肉体を使つてきた。

「えらい、いうことを聞け！」

冷たい思いで自分のものとして使つてきた。動かしてきた。冷たい自分がみえる。けれどもなかなか素直に「ごめん。ありがとう」が言えない。まだまだ己偉い自分が座っている。

出すしかない。認めるしかない。このブラックのエネルギーを、もつともつと包み隠さずに出して認めていくしかない。現象が終わつたが、硬直したままの左手、これが私。体が思うように動かない、納得だった。



マイナスの波動を流してきた結果の肉体の痛みだった。肉体細胞が痛みを通してサインを送ってくれている。この肉体を自分と思っていたが、私だけじゃ私ではない。肉体は心を見つめるためにお母さんに産んでもらった心を見るための肉体でした。

セミナーから帰った日に、孫の手を握り肉体細胞に思いを向けながら寝ました。

翌朝、左肩の痛みが嘘のように消え、左半身の強張りもありません。肉体細胞は素直だと感じ、私は誰？ 私がこの肉体ならばこの肉体細胞は？ 肉体細胞も意識、私も意識、私はこの肉ではなかったということ？ そうか、そうだ。肉体は自分の物としてきたことが間違いでした。ごめんね、肉体細胞ありがとう。

何時もお世話に成り有難うございます

一、お風呂に円盤を入れているのと、入れていないのを試してみました。

入れた時はお湯を手で持ち上げると滑らかで、軟らかく感じました。

二、まだ学びに参加しない夫に、セラミック玉子で足裏に朝食の後十分〜十五分両足にしています。

いつも、なかなか継続出来ないのに、私自身マッサージをすることによって、温かく汗が滲んできます。

このわずかな時間ですが、ゆったり出来て嬉しいです。ありがとうございます。



「愛」の体験談

— 田池留吉に思いを向けるといふこと —

6月のセミナーで田池留吉に心の針を向ける練習をさせてもらいました。

前に出た時、田池先生の指を見る機会を与えてもらいました。

異語が出て心が反応するままに転がっていました。

その時に感じたものは、とてもかすかなものでしたが、間違ってきたと思いました。

自分は間違ってきたという思いとともに嬉しい思いも感じ、そしてお母さんごめんなさいと思いました。

家に帰ってから、その時のことを思い出しながらノートに書いているうちに

田池先生、ありがとうございますという思いがこみ上げてきました。

長い間学んできて、田池先生が懇切丁寧に皆に教えてくださっていると頭ではわかっていたも、心の底からありがとうございますという思いがでたことはありませんでした。

でも、その時は本当に心で、とてもとても丁寧に教えてもらったという感じがしました。

ありがとうございますという思いが素直に出てきました。お母さん、ありがとうございますという思いも素直に出てきました。

田池留吉に心の針を向ける、それがほんの少し向いただけでも心に響いてくるものがある、自分の心に変化がある、すごいことなのだと思います。

愛のグッツを使つて、愛を思つての体験

前回での体験で私の横隔膜の痙攣けいれんがよくなつたと書かせていただきました。今は愛を思う、を続けています。とても前とは比べられない全く痙攣（こむらがえり）はおきなくなりました。すごいエネルギーの働いているのを感じています。そして胃の重たい感じが無くなつてきました。心の針が金に向くと私は胃が重くなるように感じていました（食べ過ぎないことと愛を思い胃に思いを向けています。胃が教えてくれた食事に使う私の思いを見ながら生活している）。

家のお風呂は愛の孫の手を使つたりラミネー卜の愛を使つたり、また愛と思うだけのお風呂の湯の変化を感じています。とろんとした柔らかな湯が出来ます。ゆっくり半身浴をしてい

ます。人の入浴後にもおいは感じなく消えてしまふ体験をしています。消えるのが、すごいと思います。びっくりしています。

愛のパワーって本当にあるとますます思っています。

庭の木や花には、水道水を愛の水に変えてまいていきます。蛇口に愛のカードを撫でた手で愛を思いさわりました。以前よりもだんだん元気のある木の成長を感じています。枯れそうだった茶花椿の木が元気になりました。

これは私の最近の体験でどう思つても信じられない本当のことです。

魚の骨をのどに詰まらせてしまいました。普

通ならごはんを丸飲みするとかがいままで、してきた方法でしたが、とっさに手をその詰まっているあたりにあてました。その時は瞬間愛を思っていました。でもあまり期待はしていなかったのです。(お水を飲んでものを通るとき痛いのです)。あれっあれっと思いました。瞬間痛みが消えているので、もう一度お水を飲んで確かめました。やっぱりもう骨での痛みなどの違和感がないのです。本当にその時はびっくりしてしまいました。こんなことつてある？自分でびっくりしてしまったのです。愛つてすごいパワーなんだなあと思いました。骨は無事に食道を通過してくれたのです。

この頃、朝のNHKの体操をしています。前に屈伸しながら愛に思いを向けています。無理をせずに優しく身体を動かしています。愛のカードを持ってした経験で、私も一番よく身体

を曲げ手が床につくことを、ある場所で体験しました。無理なくできる優しい愛のパワーを感じて喜びです。

これはまだ結果が完全には出ていません。家の飼猫です。去年八月中ごろ家に迷い込んできました。左の眼が何かに突つかれたようで、目があるのかないのかわからなかった(膿が目を覆っている)のですが、回復して奥に黒く光っているものがあるので、目だろうと判断しています。来たときはひどい状態でしたので医者薬を二週間のませました。その後医者に行かなくていい状態に回復して水素水を一緒に愛の水に変えて私たちと飲んでいきます。

猫ちゃんもわかっているのか、飲もうとしたらそばに来て「飲ませて」というので一緒に飲みます。まだ来てから一年にはならないし水素水を愛に変えて飲みだしたのも最近のことですが、身体が二・二キロのガリガリだったのが、だ

んだん肉もついてきました。またアレルギーで最初のころは十五分おきにクシャミをして鼻水をそこらへんにばらまいていたのですが、この頃は日中五〜六回くらいにクシャミが治まってきました。愛を思い、夫と撫でたりしています。

昔、私は猫が大嫌いだったので、今はかわいいと思えることも大きな変化です。愛に心を向けると意識の世界が広がっていくように感じます。喜びの生活を送れる。またこれからは「ずっとずっとこの愛に心の針を向けていけばいいのだなあ」と思うと、楽しくなってきました。ありがとうございます。



愛の体験談

或る三月の朝のことです。リビングから和室に入るのに敷居でつまづき転びました。

その時は気付かなかったのですが、昼頃になって左手の親指の付け根から手の掌にかけて痛みが出てきて、見るとひどく腫れているのです。痛みも増して来ましたので、このままだと何も出来ない、困ったなと思って、愛のボールペンで、心の中のタイケトメキチを思いながら、「肉体細胞さんありがとう、ごめんなさい、ありがとう」と何回も繰り返しました。

すると、二時間ほどしてみるみるうちに腫れが引いて来て、次の日には痛みも無くなりました。

ああ肉体細胞は愛、転んだのも愛でした。す

べて愛の計らいの中になりました。私は愛。忘れずにしっかり信じていこう。そして日々感謝と喜びの心も忘れずに、と思いました。とても嬉しい心の体験でした。

ありがとうございました。



「愛の円盤」を冷蔵庫に磁石でとめました

三月のセミナーから帰って、すぐに冷蔵庫の扉に、田池留吉に思いを向けてから「愛の円盤」を磁石でとめました。

少しして冷蔵庫を開けて中を見ますと、無臭で、明るくなっているようで、その上、清々している感じを受けて嬉しくなりました。

初めて湯船に円盤を入れ、田池留吉に心に向けて湯に浸かりました。そのお湯のまろやかだったことが驚きでした。その後お風呂ではいつも喜びながらお湯に入っています。湯船の湯の汚れも少ないと思います。

先日、冷蔵庫が少し匂っていることに気が付きました。

毎日何度も何度も、日常的に当たり前に冷蔵庫の扉を開けたり閉めたりしていたことに、

はっと思い当たりました。田池留吉の方に心に向けていることなしに扉の開け閉めをせずと使っていたのです。

それからは、忘れることもありますが、冷蔵庫を使う度に草書体の愛の字を見て田池留吉に一瞬でも思いを向けていこうと思っています。

今では冷蔵庫の匂いはありませんが、先生が「何かをする時には必ず愛の方に心の針を合わせてやってください」、と言われたことを実行していなかったことを反省するとともに、申し訳ない思いでいっぱいです。

日常生活で、いかに肉優先でいた自分であったことを思い知ります。

愛の体験談

— 夫の円形脱毛症 —

セミナーで水の実験が始まった頃から、自宅でも水の実験を試みました。自分にも、家族にも、飲んでもらいました。そして体験した事をまとめてみました。

夫は、毎日ペットボトルに水を入れ、仕事場へ持つて行くので、これは絶好のチャンスとばかりに、その水を渡す前に反転し、その水を渡す様にしました。しばらくそれを続けていると、夫の頭に小さな円形脱毛症を発見しました。

たまたま夫の実家に帰った時、本当にたまたま父親が、息子の髪を触り、「ここ、はげてるぞ。円形脱毛と違うか？」という事で、一センチほどの円形脱毛症が発見されました。

それから、あれよ、あれよと言う間に、脱毛

部が広がり、一箇所が二箇所、三箇所と増え、七箇所以上に増えました。脱毛部が広がり、脱毛部分と、近くにあった脱毛部分がつながり、さらに大きな円形脱毛症になり、髪全体の三分の一の毛が抜け落ちました。

その現象を通し、「心を見て行くだけ。」と、感じながらも、「もう勘弁して、いつ治るの。」と言う不安な思いでいっぱいでした。

でも、夫は円形脱毛症を理由に、仕事を一日も休みませんでした。その精神力の強さに驚きました。その頃から、夫とも意識の流れの話を積極的に話すようになってきました。肉の夫はいつも否定的でしたが、意識の夫は、「真実に繋がりたい」と強く伝えてくれているような感

じがしました。「共に心を見て行きたい」という思いが、強く私自身の中にも感じられるようになりました。

夫にクソツタレばかりを流してきたけど、「この人がいるから、このクソツタレの思いを見て、反転が出来るんだ。だから、夫婦になったんだ。」と瞑想の中で感じると、円形脱毛症が愛しく、旦那も愛しく、そして「治ってもいいし、治らなくてもいい。」っとそんな思いに変化してきました。

夫は病院にも通い、一年半の時間と費用を要しました。私はその都度出すクソツタレの思いを見つめました。

脱毛部が小さくなり、後一箇所という時、「もう髪で隠れるから」ということで、旦那は自ら治療をやめました。しかし、その一箇所が大きくもならず、小さくもならず、日にちが経って

も残っていました。

そんな時、「愛の玉子で、頭をマッサージしたら、髪も生えてくる」と先生がセミナーで話されました。すごいタイミングでの講話でした。円形脱毛症の旦那のおかげで、実験が出来る！と、張り切る私に、旦那も付き合ってくれました。愛の玉子でマッサージをして、二週間後にどうなっているか、実験を開始しました。

時間が取れず、私がついついサボろうとする時、「ちゃんと思いを田池留吉に向けなさい」と言われているみたいに、旦那から「今日はマッサージいいの？」とご指摘を受けることもありました。マッサージをしながらする、たわいもない夫婦の会話も楽しいと思える、そんな二週間でした。

そして、二週間後。円形脱毛部には、産毛が生えていました。今まで髪がなく、ツルツルだった

たのに、この短時間で、産毛が生えるなんて、驚きでした。

水を反転していれば、「いいこと（肉基準）が起ころんじやないか」と何処かで思っていた、他力の思いがありました。そのことに、旦那は自分の肉体を通して見事に答えてくれました。

肉にとってマイナスに思える現象。そして、外に向いた心は、他力の思いでいっぱいになるけれど、そのマイナスと思える現象を通して、自分の心を見ていけば、いつか必ずプラスに変わる時が来る。喜び喜び。「元々愛しか存在しなかった」ということを、愛の水に始まり、愛の道具で気づかせてもらいました。

この体験を生かし、また心を見ていきます。



愛のグッズを使った体験

愛の純水を二年飲み、愛の水素水を一ヶ月位飲んでいきます。

特定検診を受けるように通知がきていましたので、四、五年ぶり位に検診に行きました。久しぶりだから胃の内視鏡の検査を受けたところ、何もないという診断でした。医者が普通は何かしら荒れたところがあるものだけどきれいですね、と驚いていました。

私はこれまで胃は必ず胃炎という診断がありましたので驚き、瞑想するときに胃の方からすごいエネルギーを感じていましたので不安な思いをもっていました。肉細胞に思いを向けていくことの大切さ、そして本当に肉細胞は協力してくれているのだと信じられるようになりました。

水素水を点眼しています。眼科で加齢による白内障だと五十歳すぎに言われました。パソコンが眩しくなって、外出もサングラスが必需品でしたがまぶしさが軽減しています。なにより驚いたのは、ぼやけていた小さな文字が見えるようになったことです。料理していて作り方を調べていて、眼鏡がなくても文字が見えるようになったら思わずウワーツと声をあげて喜びました。

点眼するとき容器に残った水素水をもったいないから頭皮にすり込んでみました。半月位して美容院に行った所、くせ毛の髪の毛のくせがおとなしくなって、扱いやすくなっているとわ

れました。素直になっていくんだなあと、こうやって田池留吉に心を素直に向けていけるようになるんじゃないかなあと思っています。

感じることのトレーニングに愛のグッズを使っています。

まず品物に思いを向けてみます。そして愛の孫の手などのグッズを触れさせて、その品物に思いを向けてみます。どんな変化がおきたのか感じる訓練です。

果物、衣類、植物などいろんなもので試しています。

愛のグッズに触れたあとは、ありがとうというような思いが出てきます。

自分の思いかなと思っていました、何度も繰り返しやって、ほぼ毎日何かしらの品物で試しているうちに、これは品物が喜んでくれていると思えるようになってきました。

田池先生が、人間だけが分からなくなってい

ると言われていることが本当だと思うようになりました。

実験して自分で確かめていくことで確信できるといふ循環が嬉しいです。

これまで目に見えないものに対して、マイナスのイメージしかもっていなかったということに気づいてきました。

温もり、優しさ、喜びが自分なのだと思信できる道を歩んでいけることは、嬉しいです。

凄まじい思いしか出してこなかった自分なのに、本当は優しさがあるなんてとても信じられなかった。

私は喜びなのだと思うときとても幸せだと思います。

ありがとうございます。

愛の道具を使った体験談

— お腹の違和感 —

腰のこわばりとお尻の張りから左のお腹の中に違和感があったので自分でストレッチをして身体の手入れをしていました。

随分身体も柔らかくなったのですが、お腹の左側の違和感がまだ少し気になりました。

「ああ、このお腹の違和感を愛の道具を使って自分なりにやってみよう」と思い、左のお腹の違和感を感じる箇所（少し痛みがあった）に愛のハンカチを当てて田池留吉に心に向けて「肉体細胞ありがとう、ごめんなさい、ありがとう」と思いを向けてみました。

しばらくして違和感のあったところが温かくなるのと同時に、何ともいえない肉体細胞のやさしい思いを感じました。

今までこんな体験をしたことがなかったので

びっくりしたのと同時にとても嬉しい思いと「ごめんなさい」という思いが出ました。

肉体細胞ってやさしいと頭では理解していたけれど、自分で実感してみても肉体細胞ってなんてやさしいんだ。本当にすごいと思いました。（今まであまり驚くこともない自分でした。）

違和感が溶けていくような感じがして腹部が軽くなり違和感が消失しました。

今回の体験の中で、今まで私には出来ない、無理だと思う心がありました。とにかくやってみることが大切なんだということをもっと感じられました。

私は愛ですということを感じて信じて、これからも色々やってみようと思います。

ありがとうございました。

田池先生に握ってもらった卵

田池先生に握ってもらった卵、意識、波動だと思ったら、
温もりがぶあーと広がりビックリしました。

わあ、わあ、わあ、と叫ぶだけです。

卵が無い、形が無い、わあー凄い、凄い、温もりだけ。

本当に、意識、波動なんだと、ただただ驚きでした。
嬉しかったです。



三週間の入院体験

二月十七日、大雪で一週間近く交通手段を閉ざされていた中、やっと電車が動くというので出かけました。気をつけて歩いたつもりがアイスパーンで転び腰を打ちましたが、幸いに骨にひびも骨折もなく、痛みもさほどなく、そのうち治癒に向かうと楽観してました。

それがふとした動作から日に日に痛みが増し、外はまだ雪が残るのでお医者にも行かれず、痛み止めを服用してごまかしていましたが、それもいよいよ効かず、食べることも座ることも立つてもいられず、失神するかと思う痛みで救急車のお世話になり、総合病院へ運ばれました。

身動き取れない自分はいま物体と化している、どうにもならない中で、何をいましたら良いのか、そのとき、当たり前でしかなかった、

私は思える、思うことができる、何気ないことだけど、嬉しかったです。

田池留吉、お母さんに思いを向けても他力のエネルギーが覆いかぶさってきます。

「くそーっ！この痛みをどうにかしろー！救えー」と叫ぶ思いが、こんなにも自分の中にあることを初めて自覚しました。

天変地異に遭遇した時の自分はこんなんだ、ありがとうなんて出てこない。そして転んだ時のことを思えば、人から良い人と思われることを良しとする肉を掲げる思い癪が見えて、さらにその先を掘り下げれば、「こんな愚にもつかないことで今世を無駄にしたくない」としてきたはずの旗を振りたがっている思いが見え隠れしてました。

己一番、一番、一番……この思いが心を占めてきた過去からの思い、一筋縄ではありませんでした。重症患者の病室は生かすことが当然の医療だけど、チューブに繋がれやせ細ったお年寄りを目の前にして、「無為に生きながらえるのは……」という先生の言葉が思い出されました。

お薬で幻覚を見て話すお年寄りや、遠くの病室から痛み泣き叫び救いを求める声が夜通し聞こえる中、ほとんどの方の最後の叫びは、「おあさくん、おあさくん」でした。見せられるものは私の過去でもあるんだと思えたら、とても切なくなり「自分を救うのは自分」が心に響きました。

転んだことから脊椎管狭窄症せきついかんきょうせうしよで、極度の筋肉損傷と坐骨神経痛という診断でした。治療には十二時間効くという強い座薬を使っていました。病室に携帯の愛の水素水メーカーを持ち込み、飲み続けるうちに十日ほどたったところから、その座薬の効力が長くなり、その後は段々と一

日一回だけになり、飲み薬に変えてもらい、その飲み薬も一回となり、退院した今も飲んでいません。

食事の時間は草書の上ですべてを置いて、田池留吉を思い〇・一秒をしていました。好き嫌いのある私でしたが、みんながさほど美味しくないという病院食が美味しく感じられ、ほぼ完食してました。

まだ痛みは続きますが、三週間の入院には完治に四、五ヶ月かかるとか、焦らずリハビリを続け、自分が繰り広げてきた自業自得の結果を受け、色々見せられたこのマイナス、自分に冷たく肉体細胞を牛耳ってきた、他力他力他力、他力の温床の自分を愛おしい思いで受け止め、プラスに転じることを信じて学び続けます。

愛の体験談

— 三つの体験 —

水素水のパウダー（薬剤）の使い古しをお風呂に入れると水素水風呂になって気持ちがいいという話を聞きまして、家でやってみました。水素水を二回作った後にそのパウダーをすぐお風呂に一個入れてみました。小さい泡がずっと出つづけているパウダーを見ているうちに、その泡をだしているパウダーが愛しく優しく感じました。意識がそのパウダーにいくと、泣きたくなり、お湯につかっているけどお母さんのぬくもりに包まれているように思い、心にたまっていたものが嗚咽になって泣き続けました。



このまま出していいこう、この思いを溜めてしまっていた、出したかった、出したかった、止めてしまっていた、出したかった、押し込めていた、聞いてあげられなかった、自分の思いを見てあげられなかった、ごめんね、お母さん聞いて、もう解放されたい、そのような思いが吹き出しました。気づくと私は自分を押し込めて縛ってしまっていると感じました。

たった小さなパウダーでぬくもりの方に意識がいき、ぬくもりに包まれていると感じ、押し込めていた自分を少しでも出すことができました。

家の植木のパキラの下に愛のパウチを敷いています。冬になると多くの葉が落ちて夏になるとまた葉が出てくる繰り返しでしたが、パウチを敷いてから冬でも葉の落ちる数が減りました。

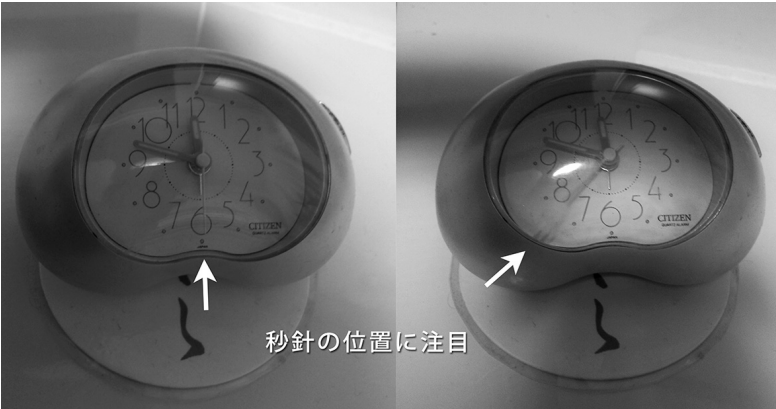
一枝に葉が七〜八枚生えていました。一枚でも落ちると一気に七〜八枚が落ちてしまうのですが、パウチを敷いてから一気に落ちなくなりました。現在三枚の葉が残っている枝があります。

二十年以上使っている目覚まし時計が止まり、電池を替えても動きませんでした。電池を入れる部分を見てみると錆びて腐食しているような感じで見た目にはもうダメかなと思っていましたが、愛のコースターにのせて置いておき

ました。気が付くと時計が普通に動いていましたので時間を合わせましたが、いじるとまた止まってしまいます。愛のコースターに置きっぱなしにすると今でも動いています。

三つの体験を書かせて頂きました。電池を替えても動かなくなつた物があれば今までならあきらめていました。愛のパウチを使ったことでまた動き始めたことは、何かエネルギーが働いているのでしょうか思えなくなりました。このようなことを体験しながら愛のエネルギー、意識を信じてゆきます。

秒針の位置に注目



「タイケトメキチ」に思いを向ける

二月の急に冷え込んだ朝、すこし寝過ごした
ので慌てて起き上がりバタバタと支度をはじめ
たところ、途端に動けなくなりました。

貧血のような状態でも苦しく着替えの途
中で布団の上にとろがりのたうちまわりまし
た。冷や汗はでるし、起き上がれないのです。

後から思えば前の日に一日中遊びまわり、心
の針は肉、金、の方向に思いつきり振り切れて
いました。

動けないけれど、仕事だし、どうしよう。休
みの電話を入れようか。

などと考えているうちにも苦しさは増してき
ます。

ひとりで「苦しい、苦しい、苦しい」とうめ
き、のたうちまわる始末。

頭のなかでは、そういえば、伯父が心臓を悪
くしたときに伯母が「タイケトメキチに思いを
向けて」と言っただけになったことがあったと
言っていたな。とか、こんなに苦しいのに他力
の思いを挟まずに呼べるか！とか、思いが駆
け巡り、肉体は布団の上をごろごろ転がり回っ
ていました。

愛のカードが枕元にあるのに何だか使う気
になれませんでした。

もう今日はこうやって思いを見ていく日か。

仕事は休もう。肉体細胞の思いを無視し続けた自分と向き合っていこう、「すまなかつたな」と思ったとき、ふとセミナーの現象のときに田池先生が腰のあたりに手をあててくれて、「ここに思いを向けて」と言ってくれたことを思い出しました。

思い出した途端、嘘のように痛みが引いて、「あれ？ 座れるな」「あれ？ 立てるな」と、すっかり肉体的苦しみが引いてしまいました。

その間わずか十五分の出来事でしたが、ほんとうに不思議に思いました。苦しさとうれしさと涙はでるし、すつきりとした状態で何とか仕事に間に合う時間に家をでることができました。

普段の自分の心の向け先が「タイケトメキチ」とは真逆の方を指していることを肉体細胞に教えてもらいました。ありがとう、ごめんなさいしかありません。

「タイケトメキチ」に思いを向ける時間を少しでも多く自分に用意していこうと思います。

愛の下敷きを使つての体験談

波動が変わりました。

愛の下敷きを頂き部屋の机の上に置いていました。

部屋には、実はお気に入り poster を飾っていて、その絵から流れる波動が良くないとお聞きしながら、「まあ、本物でもないし」と、一日延ばしにそのままにしてみました。

でも、その絵をよく見ると、だんだん、「なんて寂しげな絵なんだろう、まるで私と同じ」と思うようになり、大変遅まきながら愛の下敷きを表・裏に置き飾り直しました。すると、部屋に流れる波動が優しく温かく、とつても居心地の良いものへと変わりました。

水の実験などでの変化にも、何となく遣り過ごしてしまい、先生に「驚くんですよ」といく

らおっしやっていただけでも、なかなか心が動かなかったのが本当です。

でも、部屋の空気が一瞬でこれ程までに変わるなんて、驚き以外の何物でもありませんでした。この波動の中に包まれるなんて、なんと幸せなことでしょうか。私の寂しさと、その絵の寂しさと通じ合ってたんだ。ああ、意識なんだ、と思いました。

本当にありがとうございます。
嬉しいです。嬉しさで一杯です。

これからは、もつともつと信じていかなければと思います。

「タイケトメキチを思う」

二月のスカイプセミナーの時、ティッシュユに愛のエネルギーを向けリングテストをするということがあったので、私もパソコンの画面を見ながら、手にティッシュユを持ち一瞬タイケトメキチを思い、その後、となりの人にリングテストしてもらったら固くなったので、家に帰って数日前からいつも同じものなのにタッパに入れても匂いがするし、その上からポリ袋に入れてみても匂いが消えないので気になっていたところだったので、さっそく冷蔵庫にティッシュユを入れて試してみました。

しばらくして冷蔵庫を開けてみたら、まったく匂わないのでびっくりしました。

半信半疑のリングも、この結果に素直にうれしかったです。

まだポリ袋に入った匂いの元もそのままでしたから。

愛のカードや愛の水でも試しています。我が家の犬は体調が悪い時、左の眼が半分ぐらいいか開きません。お水を愛の水にしてカップに入れて親指に水をつけて洗ってあげると、しばらくするとぱっちり開いて元気になります。そんな時もそんな現実を目の前にしても、私がタイケトメキチに思いを向けて作ったのに信じられない思いも出ます。

田池先生が「私がね、こうやってお箸を向けたけど、あなたの中のタイケトメキチがしているんですよ」と有馬の瞑想会で仰っていました。それを信じていくための色々なわかりやすいカードやたまごなのかなと今思っています。

私の体験談

— 姑を通しての体験・犬を通しての体験 —

1. 姑を通しての体験

三月1日同居している姑が、また入院。

病歴は長く、十九年になります（経過は略します）。今回は肺炎になりかけて、また、心不全もあり、かなり息苦しく、ぜいぜいと肩で息をする状態でした。

酸素をしながら、座って休むほうが楽だとテーブルで前かがみになっていました。

私は義母の背中をさすりました。体の中に猫でもいるかのような振動が伝わってきます。ああ、肉体細胞……と思いました。

義母の呼吸に合わせてさすりました。何も言わずしばらくそんな時間を持ちました。

食事を持ってきた看護師さんの声で、ふと二人で気づいたこと……

「今、ぜいぜいしてないなあ」

義母の顔がしゃきつとしたように思いました。「今なら食べられそうやわ」と言うので、食事を介助して帰りました。

何が起きたのか、私は何もわかりませんでした。帰りの電車の中で、その出来事を思いだしている、思わず声を出しそうな衝撃がありました。この出来事がどういうことだったのか、同時にこれまでの十九年間どれほどの思いを出してきたのか。

心を見てこなかった自分がどんなに罪深いのか、また、思うことがどんなに愛か……

これは言葉なのか、思いなのか、ぐるぐるかじめぐりました。

姑の言葉に一喜一憂し、覆い被せるように姑

を責め、小さなひとつの家で権力争いをしてきました。その日、これから姑の言動に私はどうしていくのかと、たずねました。

言動に反応して言い分を返すのではなくて、返そうとする自分の心を見ないといけない。かなり、葛藤はあると思うが、やってみようと思った。

同時に夫のことも思いました。出しっぱなしでした。

この学びを伝えているつもりが、私は正しい、私に従えとやっているだけでした。

その上、姑の世話をしていることで、私を敬え、私に感謝しろと、バンバンだしてきてたんです。夫に何を望んできたのか、どうすれば、この荒れ狂った心を静められるのか。ああ、夫に従うなんて、悔しくて、悔しくて……

だけど、何か今、「はい」って言ってみようかな、「いってらっしゃい」「おかえり」を、明るく言ってみようかな。そんな自分があります。

そう思ってまだ三日、昨日は夫がゲラゲラ

笑って私の肩をたたいてきます。なんにもないのに、二人でおなか抱えて笑いました。

2. 犬を通しての体験

十四歳五ヶ月のヨークシャーテリアがいます。このごろ歳のせいか、体に出來物があります。背中にし少し大きめのものが二年くらい前からありました。

愛のセラミックのたまごがきてから、散歩の後はこれでマッサージが日課です。

私は、背中の出來物にもと、周囲をぐるぐるしていました。「ちよつとどうなるのかなあ」と、私なりの実験でした。

小さくなればいいなあ、なくならないかなあ
と心の中でちよつと期待もあり……

ところが、本日出來物から出血、犬も痛いのか不具合を訴えてきて病院へ行きました。

ごっそり穴があいて、出來物がとれました。クレーターのようになったのを見て、また先生

から「膿はだしたほうがよいので、開放しておきます」と言われ、ああこれは噴出だなど思ったとたん、私はこうして間違ってきたんだ。

また、封じ込めようとして、愛のたまごを使いました。

愛は噴出。私は噴出していない、私は間違っている。

愛に向けていこう。

いい先生に囲まれています。



一緒に住んでいる母との体験です

セミナーから帰った夜、愛の円盤を使ってお風呂に入りました。

タイケトメキチを想い、三秒湯船につけました。

いつもより、ぼかぼかあったかく、うれしい気持ちでお風呂に入りました。身体も軽く感じました。自分の中で伝わってくるものがありました。

そのときの自分に想いを向けると、愛、うれしい、うれしい、身体全体が喜んでいて、そんな感じでした。

お湯も同じでした。一緒にうれしい気持ちでした。

私が入ったあと、母も同じく円盤を使いたい、とお風呂に入りました。

まずは湯船につかろうと何も考えずに両足を入れたそうです。

すると、(まだ円盤を使っていないけれど)涙があふれて止まらず、「異語が出てきた」と驚いていました。

想う、向けること、愛が伝わること——を肌で感じて、うれしかったです。

「グッズ」と「瞑想」

水道水の実験では、反転する前の水は少し舌ざわりがきつい感じがありました。反転後はまるやかで飲みやすい水に変わりました。

家では地下水を使用しており、結構、砂が地面から上がりコップに混じることが多かったのですが、それからは混じることが少なくなり非常に驚いています。

そして、その水を水素生成機に入れて毎日職場でも飲んでいきます。

水を持ち歩く前には職場で疲れるとよく頭痛や目の痛みがあり大変だったのですが、最近はず痛みがなくなり仕事での疲れもあまり感じなくなりました。

仕事の合間に水を飲むとき、「タイケトメキチ」と思い数秒ですが瞑想をする機会を持っています。最近は仕事に行くのも何をするのも楽しいです。

私は介護施設でリハビリの仕事をしておりますが、利用者、職員共に人間相手ですから、様々な人間関係もあり正直一番そこがネックでした。

嫌な苦手な人間もいますし、何でこんな人間が介護の仕事をしてるんだと見下げ、軽蔑の眼差しで見えておりました。

私自身、今となれば恥ずかしいですが、自分の思想や価値観は誰にも劣らない、私は誠心誠意仕事をしているし立派に生きていると思います。

んできました。

正直グッズを購入するまでは、自宅でも瞑想がおざなりで真面目にやっているとは思えない自分でした。しかし、先生が紹介されたグッズを家や職場、外出先でも持ち歩き「タイケトメキチ」に思いを向ける瞑想を持つ機会が増えてくると、ある時、「私は何のために頑張ってきたのか、お前の人生観は偽物だ、もっと本当の自分のために誠心誠意仕事をするべきではないのか、あなたは間違った生き方をしているぞ」という思いがグワつと上がってきたのです。

それからは、職場での自分にとっての敵となる相手や、形からすればマイナスの出来事に対しては特に心を見ることができる現象なんだという思いが強くなり、同時に自分のブラツクの思いが引き出され、そんな思いに「ありがとう、もっと出てきていいんだよ」と、優しい思いを

向けるようになりました。目の前の相手や現象にも愛が流れるよう思いを向けています。

周りを見る目が変わり、色んなことはあっても「ありがとう」と素直に思えるようになってきました。周りも私に優しく声をかけてくれるようになりました。

日々、仕事も家での生活でも幸せを感じるこ
とが増えました。

愛の体験談

— 足の荒れが消えていました —

今回、愛の円盤を使って体験をさせていただけだったので、体験談をおくらせて頂きます。

私は小さい頃から手足の荒れがひどく、薬を塗っても全く治らず、服で隠れる場所だから、と手足の荒れの完治を諦めていました。

毎晩、風呂に円盤を浮かべていたのですが、「思いを向けて」浮かべていなかったのです。

ですが、田池先生の「思いを向けて」という言葉に、思いを向けることを忘れていた、円盤をお守りか何かのように思う気持ちがあつたことに気付き、その日の晩、入浴中、思いを向けました。

すると、お風呂からあがつたあと、足の荒れが大方消えていました。

それだけでなく、少しの物音で起きていた眠

りも快復、朝までぐっすり眠れました。

今まで「思いを向ける」ということを軽く、軽く見ていたことに気付きました。

現在は、何かするときは、まず思いを向けてから行動に移すようにしています。

「おはよう、起きてください」

南河内の勉強会の翌日、親子三人で朝、体操に行こうと言っていたので、七時十分に二人を起こそうと思っていました。

でも、たたき起こすんじゃなく、田池留吉に向けて言いたい、優しい思いで言いたいと思い、前屈をすると、指が下に付きませんでした。

でも、田池先生の家の方を向き、田池留吉と思つてから前屈をすると、床に指がつきました。ちよつとやっぱり、びっくりというか、私でもできるのかというか、うれしかったです。

そして、田池留吉に心に向けて、「おはよう、起きてください」と言いました。

今書いていて、結婚した頃、下呂のセミナーで夫が硬直をした時だったかに、先生が私に（優

しく、それははつきりとは憶えていませんが）、夫のそばに行つて「あなた、起きてください」と言うように指示されたことを思い出しました。それは、このことだったんだ、その時から、もう教えてもらっていたんだ。

そして、何回も、田池留吉、本当の自分に向けて、夫に声を掛けていましたが、それが、本当に田池留吉に向いているのか、自分でわからないので、自分で自分を信じられない、そんな思いがありました。床に指が付かなかつたのに、思うと付いたことで、希望というか、やっぱり、うれしいです。（三月十七日）

入院中で筋肉が落ちている中、外泊で、たく

さん歩いてしまつて、環状線で、どっち回りに乗つたらいいのかわからず、車掌さんに聞いたら、反対の電車だったので、来ていたので、走つて乗つたら、足の付け根、おしりと足の間が、痛くて痛くて、このままだったら病院に帰れないな、と思うほど痛くて痛くて、どうしようもないほどの痛みでした。

一駅乗つて、大阪駅から座つて、円盤と、たぶん、故郷のCDも入っている封筒を、痛いところに敷いて、田池留吉、ごめんなさい、ありがとうございます、と、肉體細胞に向けて言いました。

そしたら、治つた。

治つたこともうれしかつたし、驚いたけれど、なんでこういうふうになつてしまつたのか、自分の中から出てきた思い、一番最初に出てきた思いをもつと真摯に見えていかないといけな思いました。(四月二日)

入院中、面会に来てくれた夫に、いつも先生

に苦しいことばかり書いているから、うれしい手紙を書こうと思つて、「今、書いているところ」と言うと、「今、UTAブックで体験談募集してるから送り」と言われ、退院したら送らせてもらおうと思つていました。

いつも、ありがとうございます。

今回も、有馬のセミナー、ありがとうございますました。

Hさんの現象、本当に自分と同じだと思ひました。

谷口雅春を自分の中から出して、本当に間違つていると思うしか、もうない。

真面目に、お母さんの瞑想と、宗教家を思う瞑想をやつていきます。

「愛」のグッズと爪水虫

愛のグッズが身の回りのいたるところで溢れんばかりにあり、ありがたく思っています。

愛の字のラミネートが話題になった時には、それに合わせて、ラミネートの器具を購入しました。欲しい方に草書体「愛の字と五訓」を、かなりの枚数ラミネートし、お渡しましたが、そのラミネートの使い方を家内とともにいろいろと試行錯誤して創りました。もちろん、コースター、ランチョンマット、磁石でくつつく愛の字を冷蔵庫や炊飯器、自動車などの金物に、布にアイロンで付けられるシートを着衣や布の入れ物に、常時持参できる名刺サイズのラミネートなど活用に合わせて機能やサイズも様々、いろいろなものに愛の字を使いました。もちろん、オリンピックテストをし、食味などを確認し、美味

しきやまろやかさの効果があることなども確認しました。風呂にも入れましたが、日数とともにどうしても印刷がにじんでいました。

その後、タオル、孫の手、ボールペン、箸、卵、フェイスタオル、靴下等々いろいろ作っていたきましたが、風呂の中で使うには、苦勞をしていました。そこに円盤の登場です。助かりました。長時間つけていても、にじんだりふやけたりしないことです。丸い形も気に入り、これだと思いました。

以前から私の困っていたものに足の爪水虫がありました。これとの付き合いはかなり長く、二十年以上は付き合っています。もちろん医者に行き、治療はしましたが一向に改善せず、十

年ほど前になるでしょうか、飲み薬による治療があるはずでした。その薬は肝臓に悪さをするので、肝臓を血液検査で確認しながら治療を続ける飲み薬です。躊躇はしたのですが、「良くしたい」の一心で、その治療をやむなく始めました。何度か薬を飲み、日数をあけながら、また飲むやり方で、はつきり覚えていませんが、飲み薬の治療は三か月ほどかかったでしょうか。治療の効果は足の爪が伸びるまでわかりません。半年ほど経ち、新しい爪が伸びてきて、効果のほどがわかります。半年後、見た目では良くなり、医者からも完治したと言われました。しかし次の年に再発したのです。私の足は居心地が良いと思いたいのですが、私の心癖がそうしたのでしよう。

この爪水虫を治せないかとの思いはいつもありました。転勤などもあり、他の医者に診てもらいました。塗り薬では治らないと言われ、再度、飲み薬を進められましたが、もう薬を飲む

治療はしたくないと受け入れは拒否しました。

その当時に、愛の字のラミネートが配布されるようになり、ラミネートでよくならないかとの思いに至りました。小さくても効果があるのではないかと思い、実験も兼ねて、できるだけ小さい愛のラミネートを作りました。5mm程度の極小サイズで愛の字の入った、爪に貼れるラミネートです。ラミネート厚も一五〇μでは曲がりづらいので、一〇〇μにし、絆創膏では貼れないように爪に貼りました。ラミネートは接着する部分が必要で、苦勞をしましたが、何とか作れました。ラミネートをしていますので、水や汗に強く、風呂に入る時も付けたままで、全くとは言えませんが、ほとんど支障がありません。左右合わせて三本の爪で始めました。少し効果が出たようで、三本の悪い爪のうち、軽度の爪は少しよくなってきた気はしたものの、程度の悪い爪は全く変化しませんでした。

そこに新しいグッズの愛の円盤が手に入りま

した。それからはラミネートをやめ、円盤を風呂に入れ、半身浴を引き続き実行しています。孫の手や箸で水をかき回して入浴もしましたが、入浴中風呂にグッズを入れているほうが肉の感覚では効果が大きい気がします。○一秒の世界です。意識の世界では同じとは思いますが。

円盤に替え、最近になってその効果がやっと見えてきたようです。明らかに新しく伸びた部分の爪が新鮮で色も今までとは違います。よりひどい爪は色に変化がでてきたものももう少し時間がかかるようですが、軽度の二本の爪は新鮮で新しい爪が少し戻ってきました。爪が伸びなければわかりませんので、まだ時間がかかると思いますが、ゆつくりと風呂に入って、ゆったりとした気持ちで、引き続き長い期間を使つて、効果を確認していきますし、方法も少しずつ進化させていきたいと思っています。

愛のグッズを使い始めて年月が経っています

が、時間の経過とともに、だんだんとその力が強くなってきたような気がしますし、グッズがあると田池留吉にすぐ向けるようになり、私の大噴出も激しくなっています。総崩壊は肉では認識できませんが、坦々と、日々続けていくことが肝要と思い、先生のおっしゃっていることを、一步一步続けていきたいと思っています。

私は己高いエネルギーを心の中にたくさん蓄えているようで、その心を見ることが重要かと思っています。愛のグッズで心を田池留吉に向けることができるようになってきていますので、自分をしっかりと抱きしめて、母親のぬくもりの中で共に帰ることができるよう進めていきたいと思っています。

「愛」の体験談

— 御札代わりにしていないか —

愛の下敷きとUTAの輪の冊子を寝る時に枕の下に入れていたのですが、一歳の子供が、朝起きたら下敷きや冊子を触って一人で遊んでるんです。子供は自分に何が必要なのを知っているんだなーと思いました。

誕生日にもらった切り花が蕾つぼみがまだ付いているのに枯れそうになっていたので、切り戻しをして水を交換して愛の下敷きの上に置いて、「花さんありがとう、ありがとう」と思いを発信すると、次の日にはまた花が凛りんと戻っていました。

3 / 20にもらった花だったので既に二週間以上経過していたんですが、4 / 19現在、まだお花は元気です。先生は切り花にはあまり効果がなないように仰っていたけど、効果ありました！

愛のラミネートが始まってホームページで「御札代わりにしていないか心を見て下さい」と言われてから、素直に愛のラミネートを使うことができなくなっていました。今から思うと他力を利用して自分の心を見るのが嫌だったんだなーと理解できました。その他力を利用して自分の思いを見ながら愛のグッズを利用していいこうと思いました。

「反転」と思いを発信する時も同じで、自分の中の支配する思いや念力などに思いが向いて「反転」と思うことすら嫌になることができました。本当に間違った勉強の仕方をしていたなーと、自分に冷たい限りでした。そんな様々な自分の思いに気付かせてもらえる大切な機会をありがとうございました。

田池留吉に心を向ける実践と体験

二〇一四年一月二十五日（二十三日不在）、午前十一時、ドキドキ（心臓音が聞こえています）ワクワクしながら水道の蛇口の前に立ちました。HPに載せられている通りに実験を行いました。水道の蛇口から臭わない美味しい水が出てきました。夫や娘にも臭いを確認してもらいORリングテストもOKでした。五ヶ所ある水道の蛇口から出てくる水道水も全部同じでした。時間が経つても臭わない美味しい水が出てきました。

夫の「何でこうなるの」の質問に、「愛のエネルギーが流れ、仕事をしていくことの証だよ」と説明ができて嬉しかったです。

本当に凄い実験、そして体験でした。肉を持ちながらこうして愛のエネルギーが流れ、仕事をしていくことを確認できる私は本当に幸せ者

だと痛感させられ、田池留吉を信じる心を強く深く大きく膨らませていきたいと決心させられた実験でした。

またこの日は、大阪府富田林でのスカイプ瞑想会があり、そこで愛に変ったティッシュペーパーを家に持ち帰り、その上に水道水を入れたコップを置いたところ臭いが消え愛の水に変っていることの確認ができ、ORリングテストもOKでした。また、水道水を入れたコップを冷蔵庫の中に入れ、愛に変ったティッシュペーパーを当てた後、冷蔵庫から出して確認したところ臭いが消え、ORリングテストもOKでした。

それと、自分で田池留吉に心を向け、ティッシュペーパーに愛のエネルギーを流した後同じ実験、そして色々な物に触れる実験もしました。

結果はみな同じでびっくりでした。

二〇一四年一月三十日午前十時過ぎ、〇・一秒の速さで水道水を美味しい水に変える実験。

コップに水道水を入れ、田池留吉に思いを向け水道水に軽く息を吹きかけました。瞬間臭いが消え美味しい水になりました。何回も実験を繰り返しました。結果は同じでした。夫に協力してもらい〇リングテストの実施。結果はOKでした。

田池留吉を思うだけですべての物（意識）が愛に変っていく。肉持ちながら、意識の世界、エネルギーを感じられる喜び幸せが広がっていく体験。そして本当に凄い学びに出会いがある。この思いが溢れ出てくるようになりました。

この日からいつも田池留吉に思いを向け愛のエネルギーを流す実践を始めました。周りに存在する意識に思いを向け、軽く息を吹きかけ愛のエネルギーを流す実践です。愛に変ったかどうかを確認するために、一番分かりやすいのは

水道水の実験でした。浴槽のお湯に軽く息を吹きかけ愛のお湯に変っているかを確認する実験。そして洗面器、石鹸箱の蓋、髪をマッサージュするブラシ等に軽く息を吹きかけ愛の意識に変えて、それで掻き混ぜる実験。すべて臭いが消え優しい柔らかなお湯になったのを確認することができました。田池留吉に心を手で掻き混ぜても結果は同じでした。愛のお湯に浸かり身体を磨るとつるつるして身体が温まり、まるで温泉に入っているような感じになり、日々実験とお風呂を楽しんでいます。

〇・一秒の速さで水道水を美味しい水に変える実験を皮切りに、日々、水道水、パソコン一式、家、冷蔵庫、洗濯機、浴槽、車等、手にする意識、目にする意識等々を愛に変える実践を行っています。愛に変っているかは夫や娘が〇リングテストで協力してくれています。時には7歳の孫が、「婆ちゃん〇リング」と言って、相手をしてくれます。

また、二月の半ば頃から、目が覚めると先ず丹田呼吸を三回ほどし、田池留吉に心を向け、寢室、ベッド、パソコン（パソコンは肉体細胞とともに学びを進めていく、必要不可欠の意識です）、その他寢室にある意識に「ありがとう」の思いを向け、軽く息を吹きかけ部屋を出ます。その後、田池留吉に心を向け、玄関、洗面所、浴室、トイレ、台所、居間を含む各部屋に足を運び、それぞれの場所で手にする意識、目にする意識に思いを向け「ありがとう」と同じ実践をしています。愛のエネルギーが流れ愛の意識に変っているかどうかを確かめるために、畳や壁に手を当て娘にオリンピックテストの協力をしてもらっています。

愛のエネルギーを発信したパソコンの前に座り、肉体細胞とともに学びを進めています。これが私の一日の始まりです。そして、丹田呼吸を三回ほどし、田池留吉に心を向け、住まい全体に、「ありがとう」の思いを発信して一日が

終わります。

今世の肉を通して愛のエネルギーを発信する実践は、何時でも何処でも田池留吉に心を向けられる嬉しい嬉しい時間と空間です。

この実践を続けることで、私の中に変化が現れてきているのを感じています。田池留吉を信じられる喜び幸せが広がっていきます。田池留吉を信じる心が強くなることで、私の中にも自然と愛のエネルギーが流れ、少しずつ変化していつているのかな？と、思わざるを得ません。

今世肉体を送り出してくれた父と母の意識に自然と心が向き、「肉体をありがとう。肉体を送り出してくれたから、田池留吉の意識に出会い、真実を学ぶことができます。本当の自分に出会う学びができます。心からありがとうの思いでいっぱいです。感謝の思いでいっぱいです。ありがとう、ありがとう、ありがとう」と、中から溢れ出てきます。

父・母の意識も地獄の奥底で苦しみ固まって

いることに間違いありません。田池留吉を信じ心を合わせていった時、いつか必ず父・母の意識にも愛が流れていくことを信じています。

そして三月に入ってから、「やっとやっとう、ありがとう、ありがとう」と、中が喜びの雄叫びを上げるようになりました。田池留吉の意識に出会い、田池留吉・アルバートを信じる意識に出会い、そして二人の意識の指針を一〇〇パーセント信じ、ともに学べるのが本当に嬉しいと喜び叫ぶようになりました。こんなに嬉しくて幸せなことはありません。

HPから流れてくる波動に中が反応していません。真つ黒な宇宙で愛の波動が流れてくるのを待つて待つて待ち続けている意識達の思いと同じです。田池留吉・アルバートを信じる意識からの愛の波動が心の奥底に響き渡っていきま

す。嬉しい嬉しいと泣き叫んでいます。初めに意識あり。すべては愛のエネルギー。

愛のエネルギーが肉を持ち、真つ黒にしてしまったエネルギーを元の愛のエネルギーに帰していくために、気の遠くなるほどの転生を繰り返してきた。やっとうやっとうと真実が見えてきました。心の中で納得納得です。

どうしようもない程のブラックのエネルギーを抱え、苦しみのたうち回ってきた意識だったから、真実の学びに出会いました。ブラックのエネルギーが喜び（愛）の意識にいざなわれていました。今世それを知っただけでも幸せな存在です。

田池留吉を信じられることは喜びです。田池留吉に心の針を向けられることは喜びです。お母さんと呼べることは喜びです。真実を学べることは喜びです。今世の出会いを無駄にしないように一歩一歩喜び幸せの道を歩いていきたいと決心させられています。

水道水を〇・一秒の速さで愛の水道水に変える実践をしていなかったら決して真実は見えて

いませんでした。本当に凄い体験をさせてもらっています。日々住まいを、そしてその中に存在する意識に、田池留吉に思いを向け、「ありがとう」の思いを発信できることの喜び幸せを堪能させてもらっています。

また、二月二十二日・二十三目の、滋賀UTAの輪の勉強会をパソコンの前でもに学ばせていただき、強く心に響いてきたことは、「自分を変えるしか真実の道を歩き続けることは出来ない。心の中のマイナスのエネルギーをプラスのエネルギーに変えていかない限り、真実の道は歩いていけない」ということでした。

田池留吉の意識の、「死に物狂いでやってください」が、心に響いてきました。私の学びは本当に甘かったです。あるご夫婦の現象を見ていて、夫婦でお互いの思いを出し合えることがどれ程の喜び幸せなことかを痛感させられました。

「夫婦で学ばなければ前に進みません」全くその通りです。未だに夫への思いを押し殺し、耐

えて飲んで我慢しての夫婦関係では、絶対に前には進めないことを確認させてもらいました。夫婦がお互いに思いを出し合い、お互いに心の底から間違いを認め合い、ともに愛に目覚める道を歩いていくには、私が変わっていくしかないことを確信させてもらったセミナーでした。

いくら水道水の水が○・一秒の速さで愛の水に変つていくのを体験し、たくさん意識が愛に変つていくのを確信させてもらっても、私が変わっていくの出来ない限り、所詮私の学びはそこまでだと痛感させられました。愛の放射塔になるには程遠い話だと痛感させられています。

三月八日・九日の有馬勉強会では、他力のエネルギーを愛のエネルギーに変えていく実践を促してくれていたのは、夫だということに気がかされました。凄まじいマイナスのエネルギーをプラスのエネルギーに変えていくには、同じ凄まじいエネルギーを持つ意識の存在が必要でした。それが夫だと確信が持てそれを認められ

ることが嬉しいでした。

凄まじいエネルギーを蓄え、他力のエネルギーを永遠と流し続けてきた意識を一つ一つ変えていくために、自分で最良の環境を選んで肉体を頂いていました。最近夫へ向ける凄まじいエネルギーを瞬間認められたときの喜びを堪能させてもらっています。

パソコンを開き、丹田呼吸をし、田池留吉に心を合わせHPを開きます。その後、田池留吉に心を開ける瞑想、宇宙に向ける瞑想、田池留吉・アルバートを信じる意識の波動を感じる瞑想、二五〇年後に向ける瞑想、肉体細胞に向ける瞑想を、UTABビデオライブラリーとともに学び実践できることが本当に嬉しいのです。

朝5時過ぎに起き（有馬勉強会の前までは、パソコンの前に座るのは朝食の後でした）上記の実践を終えてから朝食（娘が準備してくれています）を摂るようになりました。家事をする時も、食事を摂る時も、いつも心の針を田池留

吉に向ける訓練を続けることで、死後の私の意識が、田池留吉を思い、お母さんと呼べるようになることを信じています。

愛の水素水を飲みながら、死ぬまで元気で実践を積んでいきたいです。このような思いになってきたのは、素直に〇・一秒の速さで水道水を愛の水に変える実践を続けてきた結果だと思っています。有馬勉強会の後、コースターを使っている実験を行いました。私はブラックコーヒーを飲むのが苦手です。コーヒーをそのまま飲んだ時は苦くて喉に刺激を感じていたのが、コースターに乗せた後のコーヒーはまるやかで美味しくなり、コースターの上に乗せる前のコーヒーのオリングテストは柔らかく、乗せた後のオリングテストは硬くなりました。コップに入れ臭っている水道水も即臭いが消えました。

また、十二月のUTAA会セミナーで購入した愛の文字入り湯飲みをはじめ、愛の文字入り急須、愛の文字入り皿、以前購入した愛の文字入り湯飲

みも触れるだけで水道水の臭いが消え、愛のエネルギーギーが働いているのを確認でき嬉しかったです。水素水も愛に変っているかどうかを確認するために、同じように実験した結果、即臭いが消えました。愛のエネルギーギーを流したお箸でコップの中の水道水を掻き混ぜる実験も臭いが消え、田池留吉の愛のエネルギーギーの凄さにはびっくりさせられています。調理器具にも愛を流す実践を行っています。食べ物がとっても美味しいです。

台所の出窓に置いてあるオンシジュームの花も愛の水をたっぷりと吸い、今まで四月から五月頃、しかも一枝に七、八輪しか咲かなかつたのが、十二月の初めに三十六輪もの蕾^{つぼみ}を付け、三ヶ月経った今も満開の花を咲かせ愛の波動を流してくれています。愛に変っているかどうか確認するため、水道水を入れたコップを触れてみました。瞬間臭いが消えました。株分けした株も同じでした。外に植えてある花も蕾^{つぼみ}をいっばい付け、愛を流してくれています。

日々、愛の家に住み、愛の意識達に囲まれ過ぎさせてもらっていることの確認ができ、心からありがたいの思いでいっばいです。毎日、毎回、水道水が臭っているかどうかを確認し、臭っていたら田池留吉に心の針を合わせ愛の波動を流す実践は日課になっています。思うだけで臭いが消え愛の水に変わっていく体験を楽しんでいます。

飲料水は浄水器を使っています。それ以外の水を塩素臭のする水道水を使っていたことで今回の凄い実験を体験する事ができました。臭いが嫌だと嫌ってきた水道水に、心から「ありがとう」と「ごめんなさい」の思いでいっばいです。第十九回UTA会セミナー、喜び喜びで参加させていただきます。

愛の孫の手（意識）も購入することができます。この愛の意識を使った実験を今からドキドキワクワクしながら、楽しみに待っているところです。ありがとうございました。

「愛」の体験談

— 田池留吉に思いを向けるといふこと —

三月のセミナーで田池留吉に心の針を向ける練習をさせてもらいました。

前に出た時、田池先生の指を見る機会を与えてもらいました。

異語が出て心が反応するままに転がっていました。

その時に感じたものはとてもかすかなものですが、間違ってきたと思いました。

自分は間違ってきたという思いとともに嬉しい思いも感じ、そしてお母さんごめんなさいと思いました。

家に帰ってから、その時のことを思い出しながらノートに書いているうちに「田池先生、ありがとうございます」という思いがこみ上げてきました。

長い間学んできて、田池先生が懇切丁寧に皆に教えてくださっていると頭ではわかっているが心の底からありがとうございますという思いができたことはありませんでした。

でも、その時は本当に心で、とてもとても丁寧に教えてもらったという感じがしました。

ありがとうございますという思いが素直に出てきました。お母さん、ありがとうございますという思いも素直に出てきました。

田池留吉に心の針を向ける、それがほんの少し向いただけでも心に響いてくるものがある、自分の心に変化がある、すごいことなのだと思います。

ホームベーカリー

我が家のホームベーカリー（パン焼き機）は購入後十年以上経っています。

昼食はほとんどこれで焼いたパンを食べていますので、本当によく働いてくれていました。

ところが、永年の働きでくたびれたのか、最近になって、パンの焼き上がりは変わらな良いのですが、パンケースから取り出しにくくなって、叩いたり、振ったり、へらでこすったり、手でつかんで引つ張ったりして苦心して取り出した結果は、へこんで千切れて情けない状態になっていました。

そんな時、田池留吉に心を向けて愛を思いパン焼き器を「愛の円盤」で触れてみました。そうするとパンはスルッと綺麗に取り出せました。数日後に二回目、同じようにやってみたら

同じように綺麗に取り出せたので驚きでした。本当にビックリでした。

そして、また数日後に三回目、この日は特に何にもしませんでした。するとパンを取り出すにも、あっち、こっちにくつついて、なかなか取り出せません。こんなに違うのか、その違いに驚きました。その時感じたことは、ただただ田池留吉を思う、心に向ける、自分は愛だと思つてやること、田池留吉を信じてやることが愛に変わるんだと強く感じました。

愛の体験

— 腰の痛み・花粉症 —

腰の痛み

三月の有馬勉強会に参加のお誘いをいただきました。
ました。

勉強会が何回か開かれていることは聞いていました。自分が参加できるとは思ってもいなかった。だったので、本当に嬉しくなりません。自分で自分を崩していこう、何もかも曝け出して、と、張り切っていました。そして何日も前から何時でも出発できる準備を整えておりました。

ところが、三日後には出発という日になって、右側の腰のあたりから右足にかけて痛くなり始め、次第に痛みが強くなってきて、立つのも座るのも辛いほどでした。こんな状態で重い荷物を持って電車で行けるのだろうか、医者に行かなければならないのだろうか、勉強会に本当に

行けるようになるのだろうかと思暗澹あんたんたる気持ちでした。

静かに心を落ち着けて心を見ました。そのとき「肉の喜び」と心に感じました。そしてその後「あるがままをあるがままに」と心が上がってきました。お母さんを思い、田池留吉を思い、肉体細胞に思いを向けました。田池留吉に心に向けて私は意識私は愛と思、腰の痛いところにただごめんね、ありがとう、ありがとうの思いを向けて、「愛の卵」で撫でました。

良くなったり痛くなったりを繰り返していました。だんだん痛みは軽くなり、そしてセミナー参加するその朝でした。

起きたらまったく痛みはありませんでした。本当に驚きました。私はそこから肉体細胞の思

いを感じとったり何かに気付かされたりして
います。あれからこれまで腰の痛みはまったく
ありません。

花粉症

医者に掛かるほどではありませんでしたが、
花粉の時期になると、クシヤミ、鼻水、鼻づまり。
年数回、市販の薬を飲んでいました。今年はその
花粉症、まったくどうもなかったのです。

本当に良くなつて驚いています。朝、昼、夜
と三回薬をさすこともあつて、日々、田池留
吉に心を向けて肉体細胞に思いを向けて心から
ただごめん、ありがとう、ありがとうと思うこ
とを実践しています。

日々実践することで、「良くなつて欲しい」と
か、「良くなれ」という他力の思いはないか、こ
こを見るようにしています。

こうして色々愛のグッズを使って、愛に変わ
る実験、実践、確認することで、目に見えない

エネルギーの自分、
目に見えない田池留吉、
目に見えない愛が存在す
ることが、だんだん信じら
れてきます。日々瞑想、そ
してこうして学んでいるこ
とを通して、私は意識の世
界を、意識の自分を信じる
思いに繋げていければいい
な一と思つています。



私の学びのネットクは、主人です

目を閉じて瞑想すると、私は、主人にこの学びを伝えられない……この一言に尽きます。どんなに言葉で言い訳しても、思いを足しても誤魔化すことができません。

いろんな形で、私は、自分の心の凄さを感じてきました。あらゆる人から、ものから、心を促されていた私でした。

先生と出会うことができて四十年にもなるのに、心を見ていくと、主人に対して怒りが吹き出します。よくもこの体が潰れなかったと思うほどのエネルギーです。

許され支えてもらってきた肉体細胞の愛 肉体細胞にありがとうがありません。

肉の主人しか見ることができなかった私は、主人が伝え続けてくれている全てを逆さまに捉

えてきました。

どんなに大きな愛で私が包まれてきたか全く気づけなかったです。

そんな私ですから、瞑想も、正しい瞑想とはかけ離れた方向違いの、肉を誇る瞑想を我武者羅がむしゃらに続けていました。

主人を思っただけで瞑想をしようと、お前許さんぞ裏切り続けた仕返しをどうしてやろうか……。恨みと怒りの凄いエネルギーが吹き出します。

何度も思いで殺してきた主人に、私は、心でごめんなさいと頭を下げられないことを、そのまま今主人が形で見せてくれていると感じています。

肉を基準に続けていた学びだった。

自分を愚かさを柵に上げて、上から見下げ続

けてきたことも気づくことができなかつたと、瞑想の中でやつと気づき始めています。

本題に入りますが、

先日、九州の娘家族の引越しの手伝いを頼まれ、車で五日間出かけたのですが、平日の引越しのため、私と身重の娘だけの引越しとなりました。愛の水素水と学びのグッズを持つての五日間でした。

二歳のわんぱくな孫を連れての引越しでしたが、いいスタッフの応援もあって、トントン拍子に無理もなく、笑いながら、荷物を片付け終えました。新しい住まいの小さな庭で、主人が買ってくれ持たせてくれた肉や野菜を焼き、お疲れさんとバーベキューの真似事をして家に帰ってきました。

その次の日、我が家の片付けなどを終えて、パソコンの前に座った私は、はつと、気づきました。

いつもの生活をしている時と全く同じでした。

体もなんの疲れもないんです、車で家まで帰るだけでも大変なのに……、嘘のようでした。

ええ〜？

うわーすごい!!

腕をさすりました。嬉しくて涙が溢れてきました。

静かな、しずかな、なんの主張もない世界、なんにもない世界でした、こんな愛を感じさせていただきました。

すごい優しさでした。嬉しくてこの出来事を伝えたくって送らせていただきました。

ちなみに引越しから戻って家に着いてすぐ、有馬のセミナーも、途中からでしたが見せてもらえ参加することが出来ました。嬉しい体験でした。

「愛」のプレートで、嬉しいお勉強

「愛」のプレートで、嬉しいお勉強させてもらいました。

夜寝る前に、著名人、偉人に思いを向けるということで、ある人が浮かび上がってきて、その人の思いを感じようと、心を向けながら、また明日必ず、と思い、眠りにつきました。

そして翌朝、目覚めるなり、上向きて寝ていたので、肩が下になつたわけでもなく、右首下から、肩、背中にかけて、ズキンとした鈍痛がありどうしたのかなあと思いながら、思いを巡らせると、何か、ピンとくるものがありました



た。

ひよっとしたら、昨日寝る前に思っていた人が、訴えてくれているのかな、肉体を通して、私に伝えてくれているのかなという感じが強くしてきました。起きて、動き出したら、治るかななど思ったけど、圧迫感があつて、とても重くて、息苦しく、朝の支度をするのがやつとでした。

「思うということはずいんですよ」と聞いていましたが、本当にごいなと思いましたが、私の体であつて私の体でない感じがしました。そして本腰を入れて、田池留吉を思つて、「愛」のプレートを肩のあたりに当てながら、その人の思いを感じまし

た。とても苦しい、聖戦、正義を振りかざして戦いに挑む凄まじいエネルギーを感じました。心を外に向け、神を作り上げ、神の言葉を信じ戦ってきた、自分は正しい、素晴らしい行為と誇ってきた。

冷たい、冷たい肉体に冷酷、無慈悲な思い、肉体細胞が、傷ついて必死に耐えて、訴えてくれていてもそれを無視して、自分の欲の思いのままに肉体を動かしてきた真つ黒い思いを感じました。

ああ、私も同じでした。その人に、間違いを伝えて、お母さんの温もりを伝えました。共に、肉体くださったお母さんの思いを感じましよう。

肉体細胞は、こうしていつも私達に間違いを訴えてくれて愛を流してくれていたことを、心



から、嬉しくありがたい、肉体細胞にありがとうの思いが溢れてきました。

そうしているうちに、あのな
んとも耐え難い痛みが、スーと
消えてしまっていました。

「愛」のプレートで、エネルギー
が、仕事をするという凄い嬉しい体験させても
らいました。

愛のグッズを使つての体験談

一、第19回セミナー会場で愛の円盤を使つて屈伸をしました。身体のかたい私がつつと曲がつて床の上に楽々届きました。びつくりです。

二、自宅でお風呂に円盤を入れるとお湯がまろやかになります。とても気持ちがいいです。

三、愛の水素水も田池留吉を思いながら主人と共に飲んでいますが、とてもおいしいです。今のところ身体に調子の悪いところは特にありませんが、過去、肉体細胞に思いを向けたことなど、ただの一度もなかったように思います。

先生がいつもおっしゃるように、死ぬまで元気で心を見つめていけたら幸せです。ありがとうございます。

愛の体験談

— 身体の冷え —

愛の円盤が出来て、先生からセミナーその他を通して「とにかく使ってみなさい」と再三促されても半信半疑でした。

風呂に入れば温まる、痛いところはすぐ直った等と、他の人の体験談は耳に入るのですが、自分はどうと、正直これという実感はありませんでしたが、一応やりなさいということが続けていました。

ある日、愛の円盤に乗ってみなさいと言われて先生の顔を踏んでいいのかしら？ と遠慮しながらも乗ってみました。

するとふあつと身体が熱くなりました。その頃とっても身体が冷えて、春の日差しの中で半袖を着ている人もいたのに、私はダウンを放せなかったのです。それ以来、身体の冷えはなく

なりました。また肩がこって頭痛がしていたのが愛の円盤を持って肩を回していたら、いつの間にか頭痛が治っていました。

衝撃だったのは、ご近所のKさんが目が赤く腫れあがって大変な状態だったのが愛の水素水で目を覆ってタイケトメキチに向けた途端、泣き出されて反省につながったようで、見事に腫れが引きました。それを目の当たりにして愛のエネルギーの存在を信じざるを得ませんでした。まだこんな体験ですが続けていきます。

一〇〇〇円のドリップコーヒー

一か月の半分くらい、朝・夕方利用する「セブン」の一番年長のあばちゃんが、私服で帰宅しようとしてました。

私は、都度「一〇〇円」のドリップコーヒーを飲んでいますが、おばちゃんに「コーヒーは飲みます？」と訊くと

「好きです、毎日飲んでます。」

「じゃー、今日は、私のコーヒーをプレゼントします。セブンのコーヒーの味は覚えていますよね、まず一口飲んで、いつもと同じですよね。」
そして、「愛のコースター」に乗せてもらってから再度飲んでもらいました。

おばちゃん、驚いた顔をして

「まろやかや、おいしい……！」

嬉しそうなので、

「これ上げるわ。家で水道水、ごはん、おかず、何でもええから、置く前と、置いてからの味を確認して……」

「冷蔵庫へも入れてみて。中の臭みが消えると思うで、味も変わると思う……」

おばちゃん嬉しそうに「やってみるわ、うちの車、車屋なんやけど……」

「私の車は燃費がよくなったよ、15k/L走るよ……」

「車は何？」

「ラウム……」

さすが車屋のおばちゃん、知っていて、

「へーすごい！」と驚いてました。

「お風呂に入れると、温泉のように温もるで

……」

「ラミネートして使うわ。」

（私は汚れないようにポリ袋に入れていたので）、
「じゃー、四角いのもあるで今度届けるわ」。

翌日、お客さんのレジをしながら嬉しそうに
「味が変わった！」と言うおばちゃんに、四角
のコースターを手渡す。

後日、会々と

「二つともラミネートした、使ってるで」
と嬉しそうでした。



お客さんが見えるので長い話はできません
が、いろいろ使ってくれているようです。

田池留吉を知らない人でも、効果があるみた
いです。

次回会うのが楽しみです、
「御札」にならないように、話ができばと思っています。
変化があればご報告します。

草書体「愛」円盤、CD、ハンカチに包まれて

今朝、愛の円盤とともに、瞑想をさせてもらいました。

心の中のマグマ、涙とともに出てきてくれました。ありがとう。

もの凄く、肉でぎゅうぎゅう、ぎゅうぎゅう詰めて押さえてきた思いが、計り知れないほどあることを感じ、毎日毎日続けて、心を見続けていく、正しい瞑想をしていこうと思いを馳せました。

私は、花粉と約三十年間、戦ってきました。(ずっと過去からですが)今年、春、三月初旬、一日だけもの凄い症状になり、その日を境に、花粉症の症状はなくなりました。体も力チ力チ、ギチギチ、今にも吹っ飛びそうなくらい、肉、肉、無知、エゴ、欲でした。

その体が、やっと少し柔らかくなりました。心を見ていると思ひ込んでいました。思い込みの激しさゆえ、同じところでクルクル回っていたことに気付いても、自分で自分を供養できませんでした。心を中心に向ける。頭でやっています。

田池留吉の世界、宇宙を、草書体の愛のグッズを、自分を軽く見ていました。

どのような思いで、お母さんに生んでももらえたか。どのくらい懇願して生んでもらえたかを、愛の円盤を見て瞑想しました。朝、深く心から伝えていただきました。

闇は、深遠ですが、私が流してきました、私を作ってきました。必ず愛に帰ろう、帰りたい。正しい瞑想、心を見ることを伝えていただき、

ありがとうございます。

心で感じる、はつきり、しつかりと。知ったかぶりは何も分かってないことを、痛烈に心の中より、肉体細胞を通して教えていただきました。申し訳ございませんでした。自分に詫びる。「間違ってきました」と、何度も、何度も、自分の心の中で繰り返し、折り重なるように出てきます。

やっと、やっと、「何を学んでいるのか」の入り口に來れたような思いです。ありがとうございます。



愛の体験談

— 壊れた秒針 —

数日前、午後十時ごろ床に就いて、だいぶ良く寝た感覚で午前三時すぎに目が覚めた。枕元の目覚まし時計を見ると、秒針が真上の0秒の所で止まって動いていない。一瞬この時計は壊れたかなと思いました。でも分針はどうかと思っただけだと、一分経つごとにカチツカチツと動いている。秒針だけ壊れて動かなくなっただのだと思いました。

このとき、何日か前、草書体の愛の文字の円盤を持たないでも、田池留吉に心を向けて前屈運動すると、今まで全然付かなかった手が、軽く地面に付くようになったことを思い出し、いっぺんこの時計で実験してみようと思いました。

田池留吉に心を向けてから、その目覚まし時計に心の中で「田池留吉」と言って、そのまま

ぐっすり眠ってしまいました。

朝六時前に目が覚めて、時計を見ると、なんと、秒針がカチカチと動いているではないか。そして、それからずっと止まらずに動いている。狐に摘まれたようとは、このことだと思いました。

未熟者の私でも、田池留吉に心を向けること、田池留吉に心を向けようとするこの発揮する、凄いパワーを、実感した次第です。

電波時計の体験

その1

息子達の家族が転居を決め、大宝へ引っ越すことになりました。その家の書類上の取引がすべて完了し、あとは引越しを待つばかりとなりました。その翌朝のことです。私は目覚めていつものように枕もとの電波時計を見ました。それは一月一日、月曜日、午前十二時一分を示していました。最初は電池が減ってきたのかと思いました。そんなはずはないのだがと思い「反転」という思いを向けてみました。しかし、次の瞬間、リセットだ！と感じました。ああ、すべてが始めに帰っている、始めから、始めからなんだ。

「愛」のラミネートの学びでは不思議なことも起こってきます、というHPの一節も浮かんで

きました。瞑想をしました。私の欲が出ました。素直に喜んで居ればいいのに、これはもしかして来年のことじゃないかとカレンダーで確認しました。しかし、来年のものでもなければ今年のものでもありませんでした。ああ、いつでもいいんだと思うとまたうれしくなりました。

パソコンに向かいHPを開いた途端、どわあーっと心を感じました。先ほどの電波時計は二五〇年後のカレンダーなんだと。もう私はうれしくてしかたがありませんでした。HPにありました。「マイナスの現象は愛への指針です」と。私の欲は私を「愛」に向けてくれました。後は、もうただ嬉しくて嬉しくてでした。

来世の電波時計に思いを向けると、とても優しいです。いつかまた正しい表示をしてくれる

だろうとそんな思いがしました。

翌朝、目覚めたとき「そうだ、電波時計に反転だ」と思いながら時計を見ました。何ということでしょうか。それは今日の日付と曜日、時刻にもどっているではありませんか。全身に何かが走りました。私は思わず電波時計を抱きしめました。「先生」という思いがしました。「お母さん」という思いがしました。瞑想すると異語と涙がほとばしり出しました。昨夜寝るときはまだ元に戻っていませんでした。心の中に電波時計は「愛」なのだという思いがしました。すべては意識の中の出来事、そんな思いが心の中に広がっていくのを感じました。

その2

昨晩、夫と私の結婚前に写した写真を何気なく見ていました。その写真には草書体の「愛」の文字を背景透過してくれてあります。何とも言えず温かく嬉しい気持ちになりました。

翌朝、目覚めて電波時計を見ました。

何とそれはまた一月一日曜日、午前十二時00分と表示されていきました。また同じことが！ 秒の表示は刻々と変わっていきました。しかし、今回は不思議だという思いがしませんでした。セミナーで先生が「不思議でも何でもなくなってくる」と言われた言葉が思い出されてきました。私はそのまま瞑想の状態に入りました。

どうしても夫に思いが向きました。苦しかった色々なことが心に感じられました。彼との苦しみは今世すべて現象化されてきたように思いました。電波時計に思いが向きました。この時計は普段、「愛」のラミネートの前に置いてあります。ああ、また明日には元に戻ってくれている、そんな確信がありました。一時間ほど経ったでしょうか。私は瞑想を終えて電波時計を見ました。何と、わずかに瞑想の間に元の時刻に戻っているではありませんか。

やはり、やはり驚きでした。しかし、次の瞬間、それは驚きでも何でもなくなりました。私は嬉しい、優しい気持ちになって今朝のスタートを切ることができました。

その3

肺に軽い症状が一週間ほど続いて私は床に入っていました。そして塩川さんが朗読されている「磁場と反転」の五、六章を聞いていました。夕食になったので起き上がりとして電波時計を取り上げようと思いました。すると弾みに時計がころがって8888という表示になり、次の瞬間、また一月一日月曜日、十二時00分から始まりました。秒の表示は前回、前々回と同じように刻々と変化していました。その電波時計があまりにも優しく愛しく私は両手に抱きしめました。そうだ電波時計とともに瞑想しようと思いました。

「愛」のラミネートの上に電波時計を置き、共

に瞑想しました。

「一月一日、午前十二時00分、来世のカレンダー……」と心の中で思い出されてきました。次の瞬間「リセットー」という思いがしました。リセット、リセット、原点に戻る、原点に、原点に…… お母さんの反省…… お母さんの温もり…… という思いがしました。

「ニューヨーク、ニューヨーク、ニューヨーク」
私の口からほとばしり出しました。

「アルバート アルバート アルバート 田池留吉 田池留吉」と叫んでいました。

ああ、来世…… と思いました。来世、ニューヨーク、アルバート、リセット。原点に…… お母さんの温もり…… 私の心が叫んでいました。ああ お母さんの温もりでした。お母さんの温もり、それが私の原点だったのでした。わずか十五分程の瞑想でした。

手の中に抱きしめていた電波時計を見ました。何と、それはもう元の時刻の表示に戻っていた

のです。ただただそのようなことが起りました。私の心の中に田池留吉、アルバート、お母さんの温もり、という思いが静かに深く深くしみ透っていくのを感じました。

その4

今朝、瞑想しようとして時刻を見ようとしました。電波時計を手に取りそこね、時計がごろんと畳の上で転がりました。私はそれを拾い上げ時刻を見ました。ああ、またそれは一月一日月曜日、十二時00分を示していました。電波時計が余りにも愛しかったです。温かかったです。私はそれを持って共に瞑想しました。

これまでのセミナーの、あの時、この時の先生が促してくださった現象、心を感じた思いが激しく、懐かしく心の中を駆け巡りました。

私の周りで現在起っている現象は、肉で言えばマイナスの現象です。しかし、それは「愛」、このことが心に確信されていくのを感じまし

た。握っていた苦しい苦しい思いが氷解していききました。心が広がり、心がふうーっと軽くなっ
ていくのを感じました。電波時計を見るとやはり元の時刻に戻ってくれていました。

これらの現象はここ一年余りの間に起りました。最近のHPで「物はすべて意識として扱ってください」というのを見た時、とてもうれしくなりました。瞑想がなかなかできない自分にとって電波時計はほんとうに優しかったです。それは○・一秒の真実を私に伝えてくれているようにも思われました。

ありがとうございます。ありがとうございますました。

驚きと感動の連続です…

長く学ばせていただいています。遅々として進まず意識の転回のもとより鈍感なままの私の体験文などと締め切りの今日まで送ることを躊躇していましたが現状を包み隠さず記していこうと思いました。

今思うと不思議なことがたくさんありました。私は喉が弱くも高熱を出すことが多かったのですがこの学びをさせていただいてからは予防注射もしないし子供相手の仕事柄にもかかわらず風邪を一度もひかなくなっています。

愛の円盤をいただいてからは四十年來の花粉症がいつもはゴールデンウィークのころまで続くのですが今年四月の頭ですっかりひっこんでしまいました。また膝に水がたまって痛くてたまらなかつたのが水を抜くことも薬のお世話

にもならず、まだ完全ではありませんが日常生活に支障がないほどに回復しました。

それからもう一つ知覚過敏もほぼ完治です。

反転を教わった時に、背中突然の激痛(ぎっくり腰の背中版)も瞬時に治ったこともありました。

田池留吉を思って肉體細胞にありがとう、ごめんなさい、ありがとう。素直にそうすることが奇跡的な現象につながりました。

他力から抜け出ていない現状ですが、愛のエネルギーの存在と威力に本当に驚きと感動の連続です。

頭でしか何も分かっていない今の私の正直な体験を送らせていただきました。最後までお付き合いいいただき、ありがとうございました。

体験談

— 愛の靴下を履いて —

先週から、今週にかけてのことです。思い立って、愛の靴下を履いて、上からは一般的な靴下を重ねました。仕事柄、十六時頃になると足腰が動かなくなるほど、疲労します。

ところがバリバリこのまま行けると感じるくらい軽くなりました。

翌日も、試して、同じように感じてしまい、次の三日目は、履きませんでした。すると、何時ものように、立てなくなるくらいの疲労が残りました。以前購入した五本指の絹の靴下でも、感じたことのない、あまりの違いに驚きました。

四日目、再び履いて、楽に戻りました。書きながら、まるで通販商品の、個人的感想を書い

ているような錯覚にもとられそうですが、私は、いつも、HPの更新内容について行けるのかの日々ですから、新鮮な驚きでした。

物に頼りたくないという思いと、肉体細胞へ思いを向けてこなかったことがあからさまにあって、全てが意識とは、遥かに遠い状態です。瞑想が一分でもできるような、自分を信じたいと思います。

愛の円盤体験

— 母のお腹の中にいた安らいだ自分 —

・お湯の質、色まで変わってすべすべの温泉気分です。

・赤ちゃんの時から「オムツが濡れてる」「オツパイ、ちゃんと飲ませて」と文句ばかり言っていた。最初からひどかった私ですが、お腹の中の安らいだ自分が、ほんの少しですが、感じられ、「愛の中にいたのだ」と思えてきました。愛の温泉効果です。

・水素水と愛のCDを使ってつくった水に思いを向け「かいわれ」を育てると1cmほど生長が違い、味も良かったです。

思いを向ける大切さを学ばせていただいています。ありがとうございます。



反転と水素水の体験談

— やった自分もびっくり —

反転

先日会社で、同僚がかっこいい眼鏡をしていたので、「おしゃれなメガネをしてるね」と言っていた。眼鏡の話をしていると同僚が、「しかし、このめがねも、もう三年くらいたつてしまい、だんだん度数が合わなくなってきた、そろそろ買い換えようかと思っている」ということだった。そのとき、ふと思いついたのが、眼鏡の反転だった。

このめがねを反転できるだろうか？ と思った。

そこで、同僚から眼鏡を借りて、両手で持つて「へえ、このいい眼鏡がもう合わなくなっているの？」と聞いてみた。

すると、「かっこいいけど、実は老眼鏡なん

です」などと返事が返ってきた。

そして、両手で持ちながら、反転とやってみた。

同僚に、「眼鏡を見えるようにしてみました。どうですか？」と聞きながら手渡した。

同僚は、かけてみるなり、

「おおっ！ 見えるようになってる。どうやったんですか？」と聞いて驚いていた。

同僚も驚いていたが、やった自分もびっくりだった。

瞑想

私は、鈍感なほうなので、瞑想や闇だし、大噴出でもなかなか出てこないことが多い。

ある、瞑想会での実践の時、各自、大噴出を

やってみる時間があった。

私も、目を閉じてタイケトメキチを思い瞑想をしてみたが、大噴出とはならなかった。

しばらくして、仕方なく愛の円盤を両手で持って眺めていた。

すると、おおきな「愛」の文字を見ていると、涙がどんどん出てきた。

「愛」の字から何かが感じられた。

自分も心で感じる事が出来ると思うと、うれしく、そのまま瞑想していると、「ありがとう」「ありがとう」という気持ちかわき上がってきた。

「愛」の字はすごいエネルギーがあるのだと感じた。

水素水

私も、水素水の発生装置を購入して、だいたい毎日家族で分けて飲んでいきます。

家族六人で分けると少しになってしまいが、

ボトル二回分を作ってみんなで美味しく頂いています。

水素水を飲みはじめて、まず感じられた変化は、胃腸の調子が良くなったということ。もう次の日からお通じが良くなった。

また、顔や手の色つやがよくなった。それから、二〜三週間した時、手のひらがすべすべになりこすってみると、明らかに感触が変わっていた。体全体が若返った感じがします。

愛のエネルギーの体験

— 円盤を湯船に入れて —

今、愛のグッズといえれば色々と用意していただいています。その中でも私は草書体の愛の文字の入った円盤を使って湯船につかった時のことがとても強く心に残っています。

田池先生が言われた通りに愛の円盤を持って湯船で半身浴をしました。

そして丹田呼吸をしてからタイケトメキチに思いを向け瞑想をしました。お湯の温度は少しぬるめだったと思います。

しばらくして水素水のボトルから出る一つの粒が思い浮かびました。ぽつんぽつんとゆつくりと出てくるのをみていた時、ふっと「私は愛です」、また一粒浮き上がるたびに「嬉しい嬉しい」と言いながら飛び出してきているよ

うに見えて何だかとても嬉しい波動が伝わってきて「愛のエネルギーです」と心に響いてきたことを思い出しました。

その時に、あー、私が今こうして肉体を持ち生活をしているのは自分の中で忘れ去っていたこの思いを思い出すためなのだ、その為に肉体細胞が私の選んだ生活環境の中で働いてくれたのだと。そう思うと肉体細胞に本当に申し訳ない気持ちで一杯になりました。

自分の中から異語が突き上げてくるようになってきます。私は自分自身にどのような思いを向けてきたか、それ以外に人や物に対しても、どれだけのマイナスのエネルギーを流してきたか。常にタイケトメキチに思いを向けて心を見

ていないと、そんなことにも気付かずに過ごしてしまふのかと。

日々の生活の中で、どんな時でも肉体細胞の一つ一つが私に伝えてくれていたのだ。

「肉体細胞も愛」その通りでした。

ごめんなさい……ありがとうと素直に思えました。嬉しい思いで一杯です。そして、いつの間にか足の先から顔までぽかぽかと温かくなつていて、額から汗が出てきそうなくらいに全身が温まっている体験をしました。

何も不思議なことではない、これが思うことによる愛のエネルギーだと思えました。この時、私はタイケトメキチに思いを向け、その時に自分が感じた思い、体験したことを信じていけばいいと確信しました。

肉の思いから意識の転回は本当に難しいと思っていますが、今の与えられた環境の中でタ

イケトメキチに思いを向け、少しでも本物の愛を自分自身に肉体細胞に流せるようにしていきたいと思えます。

ありがとうございました。

ダンクシュート

私は自他ともに認める秀才で、自分の道は自分で切り開いてきた自負があった。

そんな私に、「肉の思慮など取るに足りないものであり、道はすでに決まっている。自分はその道に乗り、その自分に必要な環境の中で、救うべき自分と出会い、そして、救うことが人「生だ」ということを告げるために、私は自分を罫にかけた。

その罫は、何年もかけて、その選択が間違はなく自分の選択であることを私に納得させた。そして、その選択は紛れもなく裏切りであるという結果をまた納得させた。

小賢しい自分が本当の自分の前に無力であると教えた。小細工にエネルギーを使うのは無意味だと教えた。

結果を前に、もがき苦しむ私に、あの愛の字が浮かんだ。許すしかないのだと思った。そして、委ねるしかないのだと。

まだまだ自分の裏切りを知ることになるのだろう。大どんでん返しが待っているのだと思う。楽しみだと言えるように日々精進しなければならぬ。

私の体験談

— ティッシュペーパーで? —

何日か前から冷蔵庫の中が臭っていたので消臭剤を入れないといけなかなって思っていました。「ティッシュペーパーも愛です」とセミナーでしていたのを冷蔵庫にマグネットでティッシュペーパーをつけました。その後、中の物を取り出そうと開けると、エッ! ……臭いがしていいのです。消えているのです。ビックリしました。

私は、ティッシュペーパーで? ……と田池留吉を、意識、波動をまったく信じていなかったことをハッキリ感じました。

長い間頭痛が続いていたのが最近すごく楽になり、体調もいいのです。

肉体細胞を思い、ありがとう、ごめんなさい、

ありがとうを毎日思っただけで痛いところにカードをあてたり、卵を使ったりしてきました。早く治りたいとしていたのではないかと思ったりもしてきました。出てきた心を受け入れて根気よく続けていこうと思っています。

十五歳になった犬が尿が出にくくなってきて食欲も減り病院へ連れて行きました。膀胱炎で菌と血がでていたので溜まっていた尿を管を通して出していただきました。

水素水は飲んでいたので丸い愛のカードをお腹にあてたり、たまごで「田池留吉ありがとうございます」って思い、体全体をさすったりしている、だんだん元気になってきました。たくさんの道具をいただきながら何をしていたの

かなと思いました。ただ手にしただけで後はポ
ンツと机の上に置いたままでした。もったいな
いことをしていました。

丸い愛のカードをお風呂に入れて温まってい
ます。温泉に入ったように後でポカポカしてき
て気持ちいいです。

プリンターがチヨイチヨイ動かなくなってい
たのが上に愛のカードを置くと毎日スムーズに
動いてくれます。すごいです。



真新しい驚きの体験

— 左目の突然の痛み —

「愛」の円盤やハンカチ、タオル、孫の手、CD（故郷）、下敷き等々で実験、体験をお勉強会や家でおこなっています。

今朝、いつものように目が覚めて、パソコンを開き、ホームページ、UTTA会、UTTAブック、メール等を見ている途中で、左目が突然逆まつげのような痛みを感じ、目が開けられなくなり、手元にあつた「故郷」のCDを手に取りました。桐生さんの体験談を思い出し、田池留吉を思い、左目にCDを当てました。

三分そのままにしました。上がってきた思いがありました。「困った時の神頼み」、愛欠乏症だと。

そんな瞑想状態で五分ほど経って、やんわりと当てていたCDを外すと、あの痛み、ごろつ

きが、何もなかったように、目は普通に戻って
いました。

今日、この体験談を書くまでは、「特にこれ
と言った体験はないし」と思っていました。が、
自分にとっては真新しい驚きの体験なので送ら
せていただきました。

「愛の体験談」を送ります

— 気持ちよい眠り —

一、三月のセミナーに行くに当たり、

私事で少し大変なことがありました。

主人が病気になり、その看病で二月中旬から三月上旬まで明け暮れました。セミナーもキャンセルしなければと思い、その旨を主人に言いますと、「なんでキャンセルするんだ？ 行け！」という思いもよらない返事が返ってきました。私の体調も見ながら決めることにしてギリギリまで切符は買わずにいました。

結局、参加することができ、ホテルに着き一日目のセミナーも終わり、いつものように風呂に入りました。そして早めに布団に入り眠りについたのですが、途中から身体が異常にだるくてだるくて、真ん中に寝ていた私は、両隣に寝

ている方に、手やら足やらボタンボタンとお邪魔することになってしまいました。

それが、かなり続いたのです。

明け方になると、段々だるさも治まってウトウトと眠ったようですが、「この温泉ってこんなに効くのか」と、ふと思ったのを覚えていきます。

そして朝、目が覚めたら、どこも何ともないのです。「あのだるさは？」と一瞬思いました。私の疲労が一気に噴出したように思いました。

二日目、セミナー会場に行く体はとても軽くさわやかで、階段をのぼる足の軽さに驚きました。友人に話したら、「夕べ風呂に愛の円盤を入れた人がいるみたい」とのこと。納得でした。「愛のエネルギーだったんだ」と気付きました。

ここに来るまでにとことん使った肉体細胞に

「ごめんなさい」でした。

「ありがとう」でした。

二、セミナーから帰ってから、

我が家の風呂でのことです。

風呂に入る前に、愛の円盤を風呂に入れておきました。入ったら下に沈んでいた円盤を拾い、田池先生の真似をして足指の運動やら歌を歌って少し長く入りました。

そして、布団に入ったのですが、その布団は前日とどこも変わっていないのに、入った感じがとても気持ちがいいのです。前日までズーツと夜中の二時ごろ目が覚めて眠れない日が続いていたのですが、その日は気持ちが悪くてすぐ眠ったみたいです。それが一度も目が覚めずに、気持ちがいいってもんじゃない、言葉に言い表

せない気持ちよさでした。

朝までぐっすり、ふわーっとした中にいるみたいで、「何か母のふところの中にいるみたい」と、そんな感じで目が覚めました。

今まで経験したことはありません。

愛の円盤、愛のハンカチ、愛の水素水

上奥歯二本、歯の治療に通い始めました。

以前は、日本で三本の指に入るといふ先生に治療してもらっていました。その先生が退官され、ご近所の歯科に行きました。

以前、歯科は大変に緊張し、息を止めて治療してもらっていました。今回は胸に「愛」の円盤を入れ、愛のハンカチを手に治療を受けました。初めての所なのに緊張することもなく、汗も出ることもなく、相当おどされた抜歯は出血もそんなになく終わり、あと残された一本の治療をしています。

桐生さんの後日談を読み、愛の水素水にハンカチをひたし、重かった目、額に当てました。しばらく「母なる宇宙」を聴いていました。はずすと目がスッキリし大きくなった感じでした。

た。心なしか頬もツヤツヤしています。

二回目、今朝四時に目が覚め、愛の水素水にひたしたハンカチを、額、頭に当て「母なる宇宙」を聴いていました。はずすと頭の天辺がスッキリ、やはり皮膚がツヤツヤ、「化粧水いらないんじゃないかな」と思ったり……。

期待はしていなかったのですが、気持ちがいい、愛の水素水の湿布は気持ちいいです。

その後、近くの公園にラジオ体操に行き、田池先生もラジオ体操してるかなあ……とか思いながらストレッチし、雲一つない青空のもと、新緑を眺めながら帰ってきました。

何かしようと思う時、する時、大変力が入っていたのですが、そういう緊張感が薄れていきます。息つく暇なく動いていた以前が嘘のように、

今、ゆったりとした生活がある。この学びがある。ホームページもゆっくり見られる。

セミナーに来ない夫を見て怒り、悲しくなり夫を無視しても心動かされる。

怒り、寂しさ、悲しさは愛からはずれた私を見せてくれている。それも愛。「出船」の歌がしつくりきて歌っていると、「ママ暗い」と言われる。なるほど暗い。あと四回で、このようなセミナーが終わり、学びは続く。

自分の根源を知りたかった。宇宙は私達の出生と関わるという言葉に、宇宙を知っていく、愛を知っていく今が最後のチャンス、こんな恵まれた環境にいたと目が覚めました。



自宅の水道水を愛に変える実験の結果報告

HP上で告知された1/23の水道水の実験以来、手荒れが全くありません。

食器や調理器具を洗う時に水道水を使うのですが、去年は手の表面がカサカサになり皮が剥けて傷になり、酷い時は血がにじみ出ることもありました。「痛そう、大丈夫?」「大変だねえ」と言われることも多々あり、ハンドクリームや肌によさしい洗剤をプレゼントしてくれる方までいました。

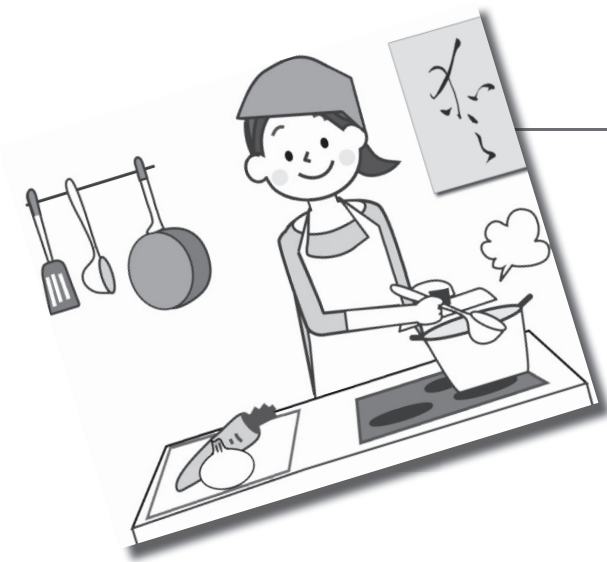
ところが今、まったく手荒れの症状がありません。実は洗剤は今市販のものを使っていて、ゴム手袋も使用していません。肉はスボラな性格なので、ハンドクリームもまめに塗っています。

せん。洗い物の量も去年より確実に増えていきます。それなのに、です。手荒れしないどころか手の甲は潤っているほどです。

やはりこれは水道水を愛の水道水に反転したからでしょうか思えません。先生が「感動せなアカン」とおっしゃっているのに味に関してピンときていない自分でしたが、この手の状態に関しては感動ものです。去年の酷い状態を知っているから尚更です。自分の手を見るたびに「スゴいなあ」感心してしまいます。

そして水道水はあくまでも一例で、結婚前に学びをしていない家族の中で生活してきた私にとっては愛のグッズを堂々と置ける、使える、

この環境が何よりも嬉しいのです。テーブルの上、トイレのドア、お風呂、玄関、寝室、そして台所、車の中も……さりげなく散りばめられた愛のグッツと共にある肉の生活。そこから始まる日常は肉の私の能力を遥かに超えています。毎日が本当に「スゴいなあ」の連続、その一言に尽きるのです。



愛の体験談

— 一番大きな変化は —

草書体の愛が入ったグッズを使って、お水を飲んだり、食べ物を食べたり、身体に触れたり、ただ見るだけ、思うだけ、そんな実践を日々続ける中で、一番大きな変化は心を自分の内に向けることでした。

確かに愛の入ったグッズは痛みを緩和してくれたり、飲み物、食べ物を美味しくしてくれたり、心を落ちつけてくれたり、びっくりするような体験をさせていただきました。

そんな実践の中で、このエネルギーはどこから来るのか不思議でした。田池先生はいつも「なぜそうなるのかを考えてください」と仰っていました。

何度も何度も繰り返していくうちに心が愛の方に向きます。愛のグッズがなくても、ふと愛

を思います。同時に自分の中の田池留吉に思いを向けます。お母さんの瞑想、ゼロ歳の瞑想の時に感じるお母さんの温もりと同じ波動。優しくて、温かくて、包まれているようなそんな感覚でした。

ああ、同じだ。草書体の愛の文字が入ったグッズから流れてくる波動は田池留吉と同じ、お母さんの温もりと同じ。思いを向けることが瞑想なんだ。

膨大な闇を抱えて生まれてきたけれど、この一瞬の瞑想を通して一つひとつマイナスをプラスに変えていくんだ。そんな実感がありました。だから自分の肉も意識も喜んでるんだ。頭で考えても分からないけれど、愛は確実に自分の中のマイナスをプラスに変換してくれる。愛が

流れているから、愛が仕事をする。

私のこれからの課題は愛を流す、自分の中から愛を流すということを、思いを向ける実践を通して実感、体験していくことです。

もちろん、肉の自分は何も出来ないけれど、思いを向ける。愛が流れる。その体験を自分を通して実感できたなら、他力の中でがんじがらめだった自分を解き放していくことが出来るのではないか。自分を自分で救っていけるのではないか。

今まで自分を信じられなかったけど、愛が仕事をするとという体験を通して、自己確立に繋がっていききたいと思います。



「愛」の孫の手

沢山の愛のグッズを頂きました。それでも日々の生活に埋没する中でなかなか思いを向けたり、瞑想をする時間を持たず、なかなかあつと驚くような体験を出来ずにいたのですが、ある時、背中に大きな吹き出物が出来てしまったことがあります。これまでも不摂生な生活をしていると時々できることがあり、痛くて我慢できない時は病院へ行くこともありました。今回も日に日に悪化し、痛くていてもたつてもいられなくなりました。翌日から出張で病院にも行けそうになく、とりあえずガーゼだけでも当てておこうと思い、ちょうど背中の真ん中あたりで手が届かなかつたので、近くにあった愛の孫の手の先端にガーゼを貼り付けて背中まで持つて行き、傷口に貼り付けました。その後、愛の孫の

手で何度かポンポンと背中を撫でて、その日は就寝し、翌日起きてみると、昨日までの痛みが大分和らいでおり、驚きました。今までは悪化してしまふと何かしら薬を使わないと良くなることがなかったもので、愛の孫の手の効果かなあと何か嬉しく感じました。翌日からも肉体細胞に思いを向けながら同じように孫の手を使ってガーゼの交換をしていると、何日も痛かった痛みが二、三日ですっかりなくなっていました、化膿していたので一応後日病院へ行ってみたのですが、もう治っているのも何もすることはないのでした。小さなことですが今まで経験したことがないことで、愛の孫の手の力に驚きました。稚拙ですが、肉体細胞を通して愛のエネルギーを教えていただいた体験でした。

「愛の円盤」を使って 体験文

歯科医院で虫歯の治療後、耳の奥と歯茎と顎が痛くなり、医院で痛み止めを飲み取敢えず、帰宅しましたが、翌朝の食事中、同じ現象になり、狂いそうに痛くて「反転」と思っても、思いは「この痛みをどうにかしてくれ。なんで歯医者に処置してもらっているのに」しか出てこなかった。

「タイケトメキチ、お母ちゃん、何とかして」と叫んだあと、違う他力の心や、愛の円盤を頬に当て、肉細胞に「ありがとう、ごめんなさい」で、異語が出てきて暫く叫び、何がなにかわからなかった。「間違ってきました、お母さんごめんなさい」の繰り返しで、気が付けば、食事もできない、堪えることも出来なかったあの激痛が嘘のように治まり、「私は意識でした」

と伝わってきました。信じていなかった。この学びを心から信じていなかった。自分を蔑ろにしていた。と思いました。

今は、舌が味覚障害ですが、五感を閉じることを教えてもらっているんだなと思えています。

やっと、やっとです。続けてきて、良かったです。ありがとうございます。

「愛の円盤」の体験談

— お風呂のパッキンが —

私の住まいは築二十三年の賃貸マンションで、建物の中も外も、そろそろ老朽化が進み、特に部屋の中の設備は、修理の必要な個所が大問わず増えてきました。賃貸なので自分勝手に修理ができず、不具合が生じる度に管理会社に連絡して、ひたすら動きの遅い管理会社からの修理を待たねばなりません。

そんな中、いつの頃か、お風呂を沸かした都度、黒い粉のような物がお湯の吹き出し口から出てきてお湯の中に浮くようになりました。掃除はきちんとしているにも関わらずです。

管理会社に問い合わせたところ、浴槽のお湯の吹き出し口に設置している部品のパッキンが摩耗して出てくるとのこと。古い浴槽なので、すでに部品はないが、取り外し可能なパッキン

のみを探して取替えるとのことでした。

管理会社に連絡したのが三月十一日、その後、三月のUTTA会で「愛の円盤」が販売されて購入しました。

帰宅してからお風呂に入るたびに「愛の円盤」を湯ぶねに入れて、田池留吉に心を向け、僅かな時間ですが瞑想を続けています。お湯が優しくなつて、コリコリの肩も柔らかくなり、何とも心地良いお風呂の時間を持っています。田池先生の言われる通りです。

が、びつくりしたのが、あの摩耗したパッキンから出る不潔な黒い粉が、一日も、一粒たりとも出てこなくなったのです。「愛の円盤」を入れる前は、量の多少はあっても毎日出ていたものがピタリと止まりました。

すぐには「愛の円盤」と結びつかず、不思議な現象に信じられない思いでしたが、これは間違ひなく「愛の円盤」から流れる愛のエネルギーが浴槽全体に流れ、摩耗したパッキンまでも愛に満たされて黒い粉が出てこなくなったのだと思います。

お湯が気持ち良くなるのも驚くべきことです。黒い粉までも出なくなつて清潔なお湯に変わりました。お湯を入れ替えても黒い粉は出てきません。

四月十六日に管理会社に来て、取り外し可能なパッキンだけを取替えてくれました。あとは摩耗しないように何か塗料のようなもので補つてくれました。今となつてはこんな中途半端な処置は不要になりました。

改めて、「愛の円盤」から流れる愛のエネルギーのすごさを実感しました。同時に、浴槽も、部品も、パッキンも、単なる物ではなく意識であること、意識だからこそ愛のエネルギーを素

直に受けている姿を見させてもらいました。

私は、愛のグッズを軽く見ていました。愛のエネルギーを遮っているのは己偉しの私でした。これからも愛のグッズを有効に活用して学びをしていきたいと思ひます。

A君との体験

先月勤務先の学校で、三年間担当してきた学年の生徒達が卒業しました。三年間の日々の仕事は慌ただしかったです。隙間の時間、ほんの少しずつでも、愛のグッズを活用しながら心の針を中に向けようと努めてきました。そんな中で、三年間担任をした、A君との体験について書かせていただきます。

三年前の入学式、いきなり反抗的な態度で私に接してきたA君に、大きな衝撃を受けました。その日から、A君との毎日は思いもよらない事の連続で、日々戸惑っていました。

しかし月日が経つにつれ、A君との関係もつくられてきました。様々な問題行動もありましたが、その出来事を通して、本人も、私自身も、良い気付きをもらう機会となりました。

A君は授業にはなかなか入れないため、私も授業がない時間は、いつもA君と一緒に別室等で過ごしてきました。時には拒絶されることもありましたが、三年間、A君とは最も長い時間を過ごしてきました。A君と関わる中で大きく心が揺れることも多かったです。そのことが、「田池留吉」に思いを向ける、心の針を中に向ける、という実践の促しにもつながりました。

そして迎えた卒業式当日。三年間関わってきたA君を笑顔で送り出したいという思いで本人の登校を待つていましたが、A君は、事前に交わした「卒業式当日は式にふさわしい頭髪で」という約束と異なる、いつも通りの頭髪・服装で登校してきました。式の開始を遅らせ、必死になつて説得にかかりましたが、結局、A君は

いつも通りのまま式に臨むことになりました。式の最中、心の針を中に向けるように……と意識はしたものの、やはり心の中は大きく動揺していました。

式後に教室に戻り、卒業生との最後の学級活動。揺れ動く思いを抱いたまま、卒業生一人ひとりに、メッセージを読み上げて記念写真を渡しました。感極まって涙を流す生徒も多かったですが、私はどうしてもA君が中途半端な状態で式を終えてしまったことを思うと、悔しくなりませんでした。

やがて、A君にメッセージを読み上げる順番が巡ってきました。私の落ち込みが伝わっていたのでしよう。A君も無然とした態度で私の前に立ちました。私も、空しい思いを抱いたまま、メッセージを読み上げ始めました。ところがその瞬間、突然心の中に、読み上げている内容、抱いている感情とは全く違うものがふわっと湧いてきました。何だろう、これは、と思った瞬間、

涙が溢れてきました。ありがとう、ありがとう、という思いが流れていました。喜びの思いしかありませんでした。驚きましたが、「おめでとう」とかろうじて私は言い、A君も声を震わせながら、「宇野ちゃん、ありがとう」と言いました。そして、二人で抱き合って泣きました。私と同じ思いをA君も感じているようでした。泣きながら、私も、A君も、ずっとこの波動の中に存在していたのだなあと思いました。その温もりが、私に気付いていなかっただけでした。ああ、そうだったのか、最初から、田池留吉しかなかったのかと思うと、本当に嬉しくなりました。

肉の自分の思いからは想像だにしなかった不思議な体験でしたが、A君との三年間は、自分で計画してきたことだったのだとはつきりわかりました。様々なことに気付くために、A君と約束してきた三年間でした。肉では大変なこともありましたが、A君には、心からありがとうと言いたいです。

愛の円盤やグッズはどこにありますか。 あなたの内ですか、外ですか。

愛の円盤を手にして、田池留吉、母を思う瞑想をする。その思いを持って、何々をする。そうすることによって、自分の中に愛の円盤があり、愛のグッズがあることを確信し、自分の心に確実に温もりが存在することを知る。

愛の円盤、愛のグッズは肉で見ればただの物質。しかし、心に伝わってくるのは、母であり、田池留吉であり、自分自身です。

そういうことをいつも伝えてくれるもの、肉でも絶えず心に向けることを忘れずにと促してくれるもの。有難や有難やと、取り扱うものは決してない。

愛の円盤を体の不調和な所にそつと当てる。そこで感じる不思議さは、ただ治った、楽になっただけではなく、はつきりとあなたは愛

ですよというメッセージを語ってくる。反省を促される、何を間違ったのか、どんな心を使っただのか、そういうことを伝えてくれる。一瞬で成される作用、まさに〇・一秒の世界。

今度は手に愛の円盤を持たずに、思いを円盤に向けてやってみる。同じなんです、まったく同じなんです。ああ、要は心に向けているかどうか、どんな心で向けるか、そういうことだったと納得です。

ともすれば肉に流される。こういうグッズのおかげで、あなたは今どこを向いていますかと、肉でも軌道修正を促すことができる。自己確立を成していれば、何も必要ないと感じるけれど、今の段階の自分では、やはり有難いグッズです。

あなたは、私の死後も心の針を私にしつかりと向け、私をしつかり思っていていけますか。

ああ、目の前から肉の田池留吉が消えた時、私は田池留吉に心に向け、合わせて行く訓練を今させていただいている。そのための愛のグッズ。この愛の円盤、愛のグッズを正しく活用できれば、肉の田池留吉があってもなくても、心の針を向け合わせ、ひとつを信じていける。大いなる計らい、ただのグッズではない、そういうことを改めて感じます。そして、このようなグッズがあるうとなかろうと、心の針はしつかりと田池留吉に向けていけるような計らいであると、そういうことを感じます。

あなたは、あなたの死後も心の針を私にしつかりと向け、私をしつかりと行って行けますか。

最終的には、愛の円盤、愛のグッズはここを

問いかけてきます。愛の円盤、愛のグッズに思いを向けて行くことは、田池留吉を思うことであり、さらには、自分の肉があってもなくても、心の針を田池留吉に向けていける、そんな計らい、心で思うと言うことの大きさ、それしかないということ、肉の自分ではどうしようもない、出来ない世界に今住んでいますよと語りかけてくれるグッズ。意識の世界の深遠さ、欲とはまったく相容れない世界、通じない世界、その存在を愛のグッズは示している。

手にして、不思議な体験をするのは当然、それをどうとるかが問題。そこからがまた勉強です。

やはりこの言葉、「私達は意識、愛です、あなた方も」「私は愛、あなたも愛、ひとつ」ここに行き着きます。それは果てしない喜び、ただただ喜び、それを伝えてくれる円盤でありグッズです。

琵琶湖の水の変化を調べる実験

以下の要領で、琵琶湖の水の変化について調べる実験をさせていただこうと考えております。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

準備物

- ・カップ 4 個
- ・カイワレの種 80 個 (20 個×4)
- *種は余分にお渡しします。
- ・4 種類の水 (キッチンペーパーが濡れる程度)
- ① 愛に変化させた琵琶湖の水
- ② 普通の琵琶湖の水
- ③ 水道水
- ④ 水素水
- ・キッチンペーパー

実験手順

- 1 各カップに 4 種類の水を表す①～④の番号を書く。
- 2 キッチンペーパーを各カップの底にしく。
- 3 ①～④の各水を、キッチンペーパーが濡れるくらいまで各カップに注ぐ。(水が乾けば、その都度水を補充してください。)
- 4 各カップに種を 20 個ずつ入れる。
- 5 発芽するまでは、ダンボールなどを上からかぶせて、暗くする。(2～3日くらいで発芽する。)
- 6 発芽したら、かぶせていたものを取り、直射日光の当たらない明るいところに置く。

留意点

- ・実験開始から 10 日間、毎日できるだけ同じ時間に、同じアングルから写真をとってください。
- ・通常は 10 日程度で収穫できます。収穫の際、見た目や味の違いなども確かめていただけるとありがたいです。
- ・生育温度は 20℃～25℃が望ましいです。

実験結果

琵琶湖の水の変化を調べるために、それぞれの水を使ってカイワレを育てる実験を行いました。ご協力いただきました皆さんありがとうございました。以下、実験結果をお知らせします。(2014.4.18)

《水の番号》

- ① 愛に変化させた琵琶湖の水（赤シール）
- ② 普通の琵琶湖の水（赤シール）
- ③ 水道水
- ④ 水素水
- ⑤ 愛に変化させた琵琶湖の水（茶シール）
- ⑥ 普通の琵琶湖の水（茶シール）

(⑤⑥につきましては、一部の方のみとなっています)

20名の方が実験に参加していただき、14名の方から回答を頂きました。

《カイワレがよく成長した順番》

- 1位 ①7名 ③4名 ②④⑤各1名
- 2位 ①②各4名 ③3名 ⑤2名 ④1名
- 3位 ②4名 ①③各3名 ⑤2名 ④⑥1名
- 4位 ④8名 ⑥3名 ③2名 ②1名
- 5位 ②4名 ④⑤各1名
- 6位 ③④⑥各2名

《実験結果から見えてきたこと》

- ・14名全員が1～3位の中に①（愛に変化させた琵琶湖の水）を選んでいました。
- ・②（普通の琵琶湖の水）を1位に選んだのは1名だけでしたが、8名の方が2、3位に②を選んでいました。
- ・③（水道水）を1位に選んだ人は4名で、①の次に多くなりました。10名の方が1～3位に③を選んでいました。
- ・一番生育が悪かったのは④（水素水）で、10名の方が選んでいました。
- ・④の水素水は、植物の生育にはあまり適さないのではないかとのこと。

最後に、実験に参加していただいた方から、「やってよかった、嬉しかった」といった声が多く聞かれました。ご協力ありがとうございました。



3月19日に種をまいたものです。

①は田池先生に3月セミナー最終日に愛を入れて頂いた琵琶湖の水

②は愛を入れてもらわなかった琵琶湖の水

③は水道水（蛇口を愛のティッシュでふいたもの）

 体験文集 Vol.1 【春号】

初版発行 2014年5月10日

編者 UTAブック
編集協力 宇野敏一
装丁 金子 互
電子図書製作 DEP（株式会社シルクふぁみりい）
発行 UTAブック（株式会社シルクふぁみりい）
大阪府南河内郡河南町大宝 3-10-15
TEL FAX 0721-21-4712
印刷・製本 モリモト印刷株式会社

© UTA-BOOK, Printed in Japan 2014